

令和 7 年度(2025 年度)  
推 薦 入 試  
学 生 募 集 要 項  
(学校推薦型選抜)

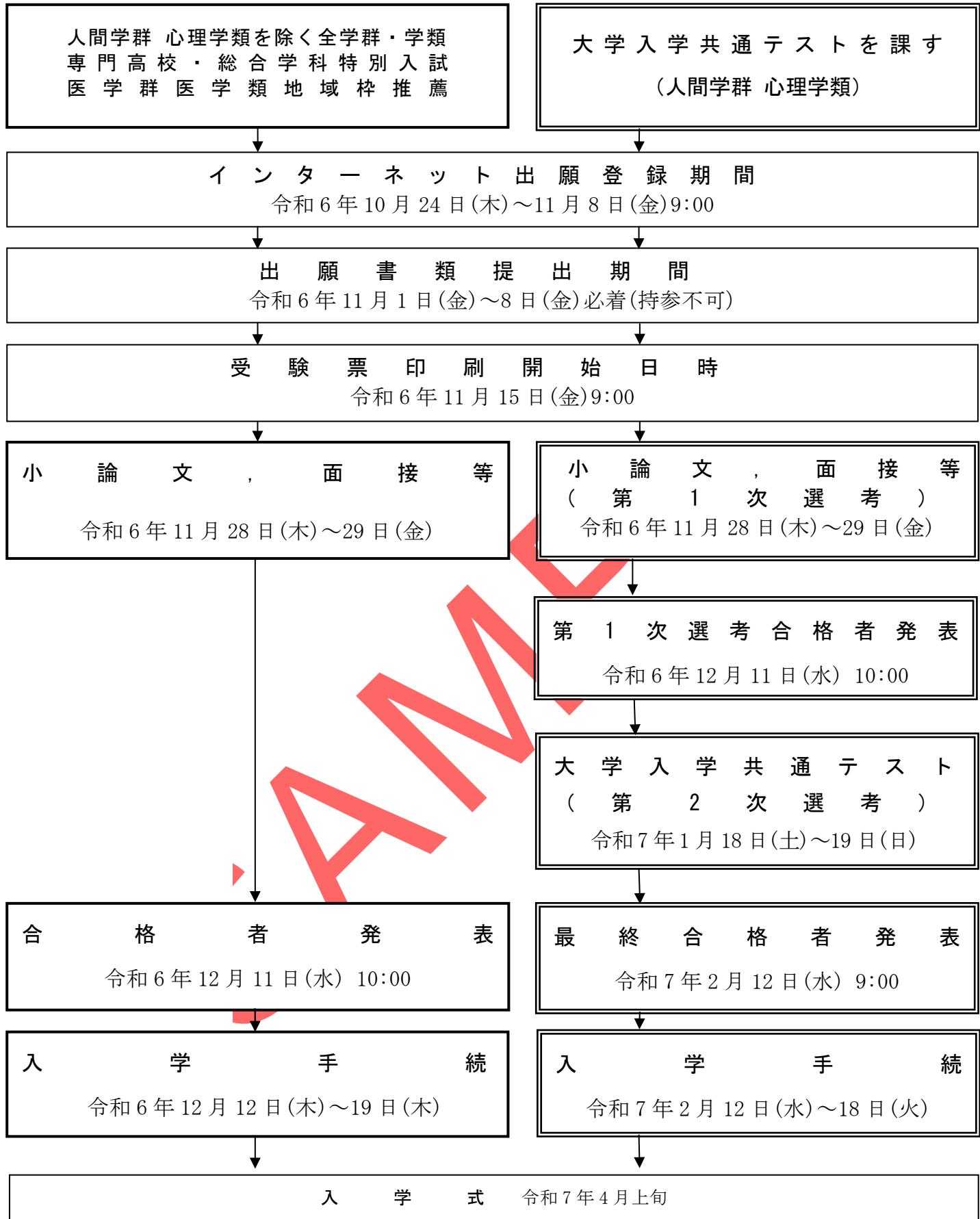
JAMP

令和 6 年 9 月



筑波大学  
*University of Tsukuba*

# 推薦入試実施日程



<不測の事態が発生した場合の諸連絡>

災害等により不測の事態が発生した場合の本学入学者選抜に関する情報提供は、大学入試情報サイト及びスマートフォン・携帯電話向けWebサイトにより行います。

【大学入試情報サイト】(<https://ac.tsukuba.ac.jp/>)

【スマートフォン・携帯電話向けWebサイト】(<https://daigakujc.jp/tsukuba/>)

## 目 次

ページ

I 新型コロナウイルス感染拡大の影響に係る令和7年度入試の追加措置について	4
II アドミッション・ポリシー	5
III 推薦入試の概要	7
IV 募集人員及び1校で推薦し得る数	7
V 推薦入試	8
VI 推薦入試(大学入学共通テストを課す)	14
VII 推薦入試(専門高校・総合学科特別入試)	15
VIII 推薦入試(医学群医学類地域枠推薦)	15
IX 共通事項	16
1 採点・評価基準	16
2 出願方法	19
3 障害等のある入学志願者の事前相談	24
4 選抜方法	24
5 試験日程・試験科目等	25
6 受験についての注意事項	26
7 合格者発表等	28
8 入学手続	28
9 入学試験に関する情報開示	29
10 個人情報の取扱い	29
11 問合せ先	29
12 試験場配置図及び交通機関	30
13 【予告】令和8年度以降の推薦入試について	34

## I 新型コロナウイルス感染拡大の影響に係る令和7年度入試の追加措置について

令和7年度入学者選抜における新型コロナウイルス感染症対策に伴う変更点及び特別措置については、以下のとおりとします。

なお、これらの変更点及び特別措置は令和7年度入学者対象の試験におけるものです。令和8年度以降の入学者選抜については、今後の状況を基に判断しますので、必ず当該年度の学生募集要項を確認してください。

### (1) 推薦要件(1)の緩和

#### 【教育学類、心理学類、医学類、芸術専門学群】

休校により通常の学習成績概評が活用できない場合もあることから、「調査書の学習成績概評 A段階に属する者」に加え「又は筑波大学個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者」を要件に追加します。

#### 【体育専門学群】

拔群の技能を有する者の要件に「④都道府県大会で優勝、あるいは地域（関東、東海など）大会で入賞し、全国大会出場に相当する成績を収めた者」を追加します。

### (2) 推荐要件(2)の柔軟な解釈

「特に優れた能力」等については、中止されたコンテスト等が開催されていた場合、志願者が推薦要件を満たす優秀な成績を認められたあるいは顕著な功績を挙げられたと在学校が判断できれば推薦可能とします。

### (3) 推荐要件(3)の柔軟な解釈

「国際的な活動」等については、中止となった留学や国際的活動が実施されていた場合、志願者が推薦要件を満たす顕著な功績を挙げられたと在学校が判断できれば推薦可能とします。

### (4) 調査書の記載【継続】

新型コロナウイルス感染症による事由によりやむを得ず高等学校等を欠席した場合、特別活動の記録や指導上参考となる諸事項について調査書に十分な記載ができなかった場合でも、選考上不利としません。

## II アドミッション・ポリシー

筑波大学は、自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、本学の教育を受けるのに必要な基礎学力を有し、探究心旺盛で積極性・主体性に富む人材を受け入れます。

Our goal is to nurture talented people who can play active roles globally of their own accord. The University of Tsukuba accepts students of high academic and analytical ability, who are energetic and can take positive initiative in tackling diverse problems.

学群・学類名		入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）
人文・文化学群	人文学類	高等学校における学習の基礎をしっかりと身につけた志願者の中から、個性豊かな課題意識と向上心を持ち、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。
	比較文化学類	文化・社会に強い関心と知識を持ち、それを自分自身の言葉で表現する能力を重視して選抜します。
	日本語・日本文化学類	高等学校における平素の学習や活動の成果などを基に、志願者の能力・適性を総合的に評価します。明確な問題意識と勉学への意欲を持ち、日本語や日本文化、さらに多文化共生社会のあり方に関する専門領域に対する適応性を示す人材を選抜します。
社会・国際学群	社会学類	高等学校における学習をしっかりと身につけたうえで、希望する主専攻分野（社会学、法学、政治学、経済学）に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有する者を評価します。
	国際総合学類	基礎学力とコミュニケーション能力に加えて、国際関係や国際開発への幅広い関心と強い学習意欲を有する人材を選抜します。
人間学群	教育学類	一定レベルの学力を有し、教育学について明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、教育学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。あるいは、教育学について明確な問題意識を持ち、その問題意識に関連した優れた活動実績を有するかどうかを評価します。
	心理学類	一定レベルの学力を有し、人間のこころと行動について明確な目的意識を持つ人材で、心理学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。または、人間のこころと行動について、旺盛な知的好奇心を持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有するかどうかを評価します。
	障害科学類	一定のレベル（高等学校の上位10%以内）の学力を有する者、または筑波大学の個別学力試験等に合格できる程度以上の学力を有する者で、障害科学について明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、障害科学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。または、障害科学についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会的活動等において優れた実績を有するかどうかを評価します。そのほかに、外国語能力や問題解決能力等において国際的な素養を有し、将来、障害科学の分野において国際的に活躍する資質を十分に有しているかどうかを評価します。
生命環境学群	生物学類	高等学校における学習及び課外活動の成果やそれらを通じて培われた生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と理解度、そしてそれらを学ぶ意欲、さらには人間性も含めて総合的に評価します。
	生物資源学類	高等学校において優秀な成績を修め、あるいは課外活動などで優れた実績を有し、生物資源に関する学習意欲や適性、論理的表現力ならびに基礎学力と語学力を総合的に評価して選抜します。 ＊専門高校・総合学科特別入試枠を含みます。
	地 球 学 類	高等学校において高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確であり、論理的に思考・表現する能力のある人材を選抜します。
理工学群	数 学 類	高等学校で優秀な成績を修めており、数学を学ぶ目的意識が明確であること、数学という学間に取り組む意欲等を総合的に評価します。
	物理学類	高等学校において優秀な成績を修めていることに加え、物理に関する高い関心と目的意識、学習に取り組む意欲等を総合的に評価します。
	化 学 類	高等学校において優秀な成績を修めており、化学に関する高い関心、目的意識、学習に取り組む意欲等を総合的に評価します。

学群・学類名		入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）
理工学群	応用理工学類	高等学校において優秀な成績を修めていることに加え、自然科学の技術分野への応用を理解し、自然法則や物質、材料に関する事柄について自分の興味や進路を適切に表現できる能力を持ち、かつ考察能力、分析能力を有する人材を選抜します。
	工学システム学類	高等学校在学中における、授業科目の学習と生徒会やスポーツなどの課外活動への取り組みの両立を評価するとともに、数学など工学系に必要な基礎学力と科学的思考姿勢と工学センス、並びに、思考力、判断力、コミュニケーション能力などを評価します。
	社会工学類	高等学校における学習習慣と、入学後の学習に必要な基礎学力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。現代社会の課題や動きについての関心度、論理的・数理的分析力、自分の言葉で表現する能力を評価します。
情報学群	情報科学類	高等学校における学習状況と課外活動への取組みとともに、情報科学や情報技術への関心、新しい技術を創造する意欲、自己表現能力、論理的に思考しその結果を的確に説明するコミュニケーション能力等を総合的に評価します。
	情報メディア創成学類	高等学校在学中の学習状況や基礎学力、課外活動への取組みとともに、情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や目的意識、自己表現能力、自己分析能力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。
	知識情報・図書館学類	高等学校で学習する全教科がバランス良く優れていることに加え、論理的思考力、コミュニケーション能力、説得力、豊かな発想を評価します。
医学群	医学類	高等学校で学習する全教科がバランス良く優れている者の中から、医師となる資質が十分な人材を小論文、適性試験によって総合的に評価します。 【地域枠推薦入試】 上記に加え、将来茨城県の医療を担う強い意志を有する人材を、小論文、適性試験により総合的に評価します。
	看護学類	看護に関連する分野において必要とされる明確な問題意識と優れた洞察力について評価します。また、部活動、地域活動、社会活動等の実績について評価します。
	医療科学類	医療人を志向する強い動機と適性、人を愛する感性、社会貢献への熱意に加えて、医科学を学ぶために必要な基礎学力と主体的に行動する能力を総合的に評価します。
体育専門学群		ひとつの運動種目に抜群の技能を有し、体育・スポーツ、健康、コーチングの分野での活躍ができる人材を選抜するために、本学群における修学力とともに、運動技能を重点的に評価します。
芸術専門学群		高等学校(後期中等教育)における学習や活動の成果に加え、芸術に関する資質、意欲、能力を総合的に評価します。

### III 推薦入試の概要

本学の推薦入試は、出身学校長の推薦に基づき、書類審査、小論文、面接、適性試験及び実技検査等により合格者を決定します。本学では「推薦入試」(8ページ参照)に加え、「推薦入試(大学入学共通テストを課す)」(14ページ参照)、「推薦入試(専門高校・総合学科特別入試)」(15ページ参照)、「推薦入試(医学群医学類地域枠推薦)」(15ページ参照)の入試を実施していますので、各ページで詳細を確認してください。

種別	大学入学共通テスト	実施学群・学類
推薦入試	課さない	人間学群 心理学類を除く全学群・学類
大学入学共通テストを課す	課す	人間学群 心理学類
専門高校・総合学科特別入試	課さない	生命環境学群 生物資源学類
医学群医学類地域枠推薦	課さない	医学群 医学類

### IV 募集人員及び1校で推薦し得る数

学群・学類名		募集人員	1校で推薦し得る数(注1)	
			推薦要件(1) 又は(2)	推薦要件(3)
人文・文化学群	人文学類	15名	2名	1名
	比較文化学類	16名	2名	1名
	日本語・日本文化学類	14名	2名	1名
社会・国際学群	社会学類	16名	1名	1名
	国際総合学類	20名	2名	1名
人間学群	教育学類	7名	1名	1名
	心理学類	大学入学共通テストを課す 12名	1名	1名
	障害科学類	11名	2名	1名
生命環境学群	生物学類	22名	2名	1名
	生物資源学類	27名	2名	1名
		専門高校・総合学科特別入試 若干名	制限なし	—
	地球学類	10名	2名	1名
理工学群	数学類	8名	2名	1名
	物理学類	14名	2名	1名
	化学類	12名	2名	1名
	応用理工学類	16名	2名	1名
	工学システム学類	22名	2名	1名
	社会工学類	12名	2名	1名
情報学群	情報科学類	12名	2名	1名
	情報メディア創成学類	10名	2名	1名
	知識情報・図書館学類	40名	制限なし	制限なし
医学群	医学類	44名	1~*3名(注3)	1名
		医学類地域枠推薦 23名(注2)	制限なし	—
	看護学類	25名	2名	1名
	医療科学類	10名	2名	1名
体育専門学群	専門学群	90名	4名(注4)	—
芸術専門学群	専門学群	35名	4名	—

(注1)1校で推薦し得る数の推薦要件(1)～(3)の詳細は、「V 推荐入試 2 推荐要件」を確認してください。

(注2)医学類地域枠推薦の募集人員は認可申請時における予定人数であり、変更となる場合もあります。決定次第大学入試情報サイトでお知らせします。

(注3)\*は、前年度までの過去3年間合計の筑波大学医学類入学者実績(数)が2名の場合は2名まで、3名以上の場合は3名までの推薦を可とします。なお、入学者実績(数)とは、「推薦入試」及び「個別学力検査等」の入学者数の合計とします。

また、該当する高等学校等には学生募集要項公表後(9月中旬頃)別途通知します。通知がない高等学校等は1名とします。

(注4)同一運動種目は2名までとします。この場合、男子種目と女子種目は別種目として扱います。

なお、運動種目とは、「陸上競技」、「水泳」、「サッカー」、「柔道」等を指します。

推薦入試の入学手続者が募集人員に満たない場合には、個別学力検査等(前期日程)の募集人員によって、その人員を充足します。ただし、個別学力検査等(前期日程)で充足する欠員の数は、アドミッションセンター入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試及び外国学校経験者特別入試(10月募集)の入学手続者の数も含めて決定します。

## V 推薦入試

### 1 出願資格

#### 【人文・文化学群日本語・日本文化学類及び情報学群知識情報・図書館学類】

次の(1)～(4)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)又は中等教育学校を卒業した者又は令和7年3月31までに卒業見込みの者
- (2) 国際バカロレア(IB)事業に参加している我が国所在の国際学校を卒業し、令和7年3月31までにIB資格を取得した者及び取得見込みの者又は国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた我が国所在の教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び令和7年3月31までに修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和7年3月31までに修了見込みの者
- (4) 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を受けている者で、外国において学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修め、そのうち海外において在住国の正規の教育制度に基づく高等学校(注1)に最終学年を含めて原則として2年以上継続して在学し、卒業(修了)した者又は令和7年3月31までに卒業(修了)見込みの者

#### 【上記2学類を除く全学群・学類】

次の(1)～(5)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 令和7年3月に高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)又は中等教育学校を卒業見込みの者
- (2) 留学(学校教育法施行規則第93条に該当する者)又は単位制による課程(単位制高等学校教育規程に該当する課程)により令和6年度途中で高等学校を卒業した者
- (3) 国際バカロレア(IB)事業に参加している我が国所在の国際学校を卒業し、令和6年度にIB資格を取得した者及び取得見込みの者又は国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた我が国所在の教育施設に置かれる12年の課程を令和6年4月1日から令和7年3月31までに修了した者及び修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年4月1日から令和7年3月31までに修了した者又は修了見込みの者
- (5) 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を受けている者で、外国において学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修め、そのうち海外において在住国の正規の教育制度に基づく高等学校(注1)に最終学年を含めて原則として2年以上継続して在学し、令和6年4月1日から令和7年3月31までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者

(注1)インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の課程修了の場合は、当該学校が在住国において正規の教育制度に基づく12年の課程として認められている学校であることが必要です。

なお、在住国において正規の教育制度に基づく教育課程として認められていない場合でも、次に掲げる資格等を有する者又は取得見込みの者は、出願資格があります。

- (a) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者(ディプロマを取得(見込み)であること。)
- (b) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- (c) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- (d) 英国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCE Advancedレベル資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際Aレベル資格)を有する者  
※GCE Advancedレベル資格又は国際Aレベル資格については、本学が指定する科目数や評価を満たしている必要があります。詳細は次ページを参照ください。
- (e) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を有する者
- (f) 國際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者

なお、出願資格に不明な点がある場合には、出願前に「IX 共通事項 11 問合せ先」に問い合わせてください。

- ・令和6年度帰国生徒特別入試(10月入学・英語コース)に出願した者は、令和7年度推薦入試に出願することはできません。
- ・令和7年度推薦入試に出願した者は、令和7年度国際バカロレア特別入試(10月募集)及び外国学校経験者特別入試(10月募集)に出願することはできません。

本学が指定するGCE Advancedレベル資格の科目数及び評価について

学 群	・ 学 類 名	科 目 数 及 び 評 価
人文・文化学群	人 文 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「言語」に関する科目を含むものとする。
	比 較 文 化 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
	日本語・日本文化学類	
社会・国際学群	社 会 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
	国 際 総 合 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「社会科学」「自然科学または数学」の2分野にわたって3科目以上であること。
人間学群	教 育 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
	心 理 学 類	
	障 害 科 学 類	
生命環境学群	生 物 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
	生 物 資 源 学 類	
	地 球 学 類	
理 工 学 群	数 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「数学」及び「理科」に関する科目を含むものとする。
	物 理 学 類	
	化 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「数学」1科目と「理科(物理, 化学, 生物)」のうち2科目を含むものとする。
	応 用 理 工 学 類	
	工 学 シ ス テ ム 学 類	
	社 会 工 学 類	
情 報 学 群	情 報 科 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
	情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	
	知 識 情 報・図 書 館 学 類	
医 学 群	医 学 類	「数学」「化学」「生物」「物理」から3科目がGCE Advancedレベルで合格していること、及び残りの1科目がGCE Advanced Subsidiaryレベルで合格していること。
	看 護 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
	医 療 科 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「数学」「生物」「化学」に関する科目を含むものとする。
体 育 専 門 学 群		GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
芸 術 専 門 学 群		GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「芸術」に関する科目を含むものとする。

※国際Aレベル資格を有する者が出願に必要な科目数及び評価は、GCE Advancedレベル資格の指定に準じます。

※科目が指定されている場合は、必ず出願前に「IX 共通事項 11 問合せ先」まで問い合わせてください。

## 2 推薦要件

学群・学類ごとに下表に示す推薦要件のいずれかに該当する者のうち、校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できるものとします。

なお、下表における“個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者”とは、推薦校において、「筑波大学に個別学力検査等(一般選抜)により入学した者」以上の学力(高校の学習成績)があると認められた者とします。

また、推薦要件(3)で志願する者は、本人の作成する「活動報告書」を提出してください。詳細は22ページの「(8)出願書類等」の「10活動報告書」を確認してください。

学群・学類名		推薦要件
人文文化学群	人文学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 希望する主専攻分野(哲学、史学、考古学・民俗学、言語学)の内容に深い関心を有し、当該分野に関連する教科・科目において優れた能力を持つ者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付すること。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	比較文化学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 文学・思想・地域研究・文化学等比較文化主専攻に関わる分野において、特に優れた能力を持つ者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	日本語・日本文化学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 旺盛な知的好奇心や日本語・日本文化を学ぶにふさわしい明確な問題意識を持ち、専攻に関わる分野において特に優れた能力を持つ者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
社会国際学群	社会学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 社会科学(社会学、法学、政治学、経済学)に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有する者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	国際総合学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 国際関係及び国際開発の諸分野の現実的問題に強い関心を持ち、世界的視野からそれを分析しようとする意欲があり、国際的に活躍できる資質を有する者で、外国语に優れた能力を持つ者、又は理数系に優れた能力を持つ者(いずれもそれを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、柔軟な発想と構想力をもち、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
人間学群	教育学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 教育についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者(その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、英語等の外国语の能力が抜群で、将来、教育学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者

学群・学類名		推薦要件
人間学群	心理学科類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 人間のこころと行動について、旺盛な知的好奇心を持ち、明確な問題意識を持っている者で、このことに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者（その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、心理学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者
	障害科学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 障害科学についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者（その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、障害科学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者
生命環境学群	生物学類	(1) 生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、生物や数学に優れた能力を持ち、かつ、生物の学習や実験に意欲的で、生物に関連する自主研究や国際生物学オリンピック（国内予選も含む。）等で実績を有する者（本要件の場合、生物の学習や実験に意欲的であることを証明する客観的資料があれば添付すること。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	生物資源学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 理科、数学、英語のうち1教科に特に優れた能力を持ち、かつ、本学類に関連する部活動、地域活動、社会活動等において、実績を有する者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。これら諸活動の実績も評価の対象とします。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
学群	地球学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学、理科及び地理のうち、少なくとも1教科・科目において、優れた能力を持つ者、国際地学オリンピックもしくは国際地理オリンピックに日本代表として選抜された者、又は、いずれかの国内選考会で好成績を収めた者（日本地学オリンピック予選通過者もしくは科学地理オリンピック日本選手権の金メダルもしくは銀メダルの受賞者。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、地球環境学や地球進化学に関する広い興味を有し、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	数学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学において、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
理工学群	物理学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学又は理科のいずれかにおいて、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者

学群・学類名		推薦要件
理工学群	化学生類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 化学において、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	応用理工学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学又は理科の能力が抜群で（例えば、その学習成績が推薦校の上位5%以内）、かつ、希望する主専攻分野に対して旺盛な好奇心を持つ者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	工学システム学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学と理科の能力が卓越しており、論理的な思考力とその表現力に優れている者 工学の分野に強い関心を持ち、工学について熱意を持って勉強しようと考えている者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有し、将来、国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者
群	社会工学類	(1) 文系・理系を問わず、調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学及び英語に優れた能力を持ち、希望主専攻分野に関連する問題（社会経済システム主専攻では社会や経済に関する諸問題、経営工学主専攻では経営上の諸問題や経営計画における数学的手法、都市計画主専攻では地域・都市・環境に関する諸問題）について強い関心を持ち、その分野で一定の成果を挙げた者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	情報科学類	(1) 情報科学や情報技術に興味を持ち、調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 情報科学や情報技術に強い関心を持ち、論理的思考力と表現力に優れ、豊かな発想ができる者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
情報学群	情報メディア創成学類	(1) 情報メディアの科学と技術に興味を有し、調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 情報メディアの科学と技術に強い関心を持ち、論理的思考能力と表現力に優れ、豊かな発想ができる者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	知識情報・図書館学類	(1) 調査書における全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 知識や情報に対して明確な問題意識を持ち、それらに関する自主研究や部活動、社会活動において優れた実績を有する者（実績を証明する客観的資料があれば添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者

学群・学類名		推薦要件
医 学  群	医 学 類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 全教科がバランスよく優れている上に、英語及び理数系特に数学、理科（物理学、化学、生物学のうち2科目）の能力が抜群で、医師となる資質が十分と考えられる者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語及び理系科目の能力が抜群で、将来、国際舞台で活躍する資質が十分であると考えられる者
	看 護 学 類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 看護に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有し、部活動、地域活動、社会活動等（看護に関するものである必要はない。）において、実績を有する者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	医 療 科 学 類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 医療科学に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有し、特に数学、理科（物理、化学、生物のうち2科目）及び英語の能力に優れている者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語及び理系科目の能力が抜群で、将来、国際舞台で活躍する資質が十分であると考えられる者
体 育 専 門 学 群	(1) 一つの運動種目に抜群の技能を有し、かつ、本学群における十分な修学力を備え、将来体育・スポーツ、健康、コーチングの分野で活躍が期待できる者 なお、抜群の技能を有する者とは、次の要件のいずれかに該当する者をいいます。 ① 国際大会等に日本を代表して選抜された者 ② 全国的な大会等において16位以内の成績を収めた者 ③ ①②と同等程度の水準にあると認められる者 ④ 都道府県大会で優勝、あるいは地域（関東、東海等）大会で入賞し、全国大会出場に相当する成績を収めた者 (上記①～④を証明する客観的資料を必ず添付のこと。)	
芸 術 専 門 学 群	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 志願する芸術専門学群の領域で優れた資質又は能力を持つ者（客観的資料として作品写真等があれば適宜添付のこと。）	

外国の高等学校を卒業した者について

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を受けている者で、外国の高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者のうち、出身高等学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者とします。

- (ア) 各科目にわたり極めて優秀な成績を修めた者
- (イ) 志願する学群・学類に関連する分野において特に優れた能力を持つ者

※「関連する分野」については、「筑波大学案内」の各学群・学類のページを参考してください。

大学入試情報サイト「筑波大学案内」(<https://ac.tsukuba.ac.jp/guidebooks/>)

## VI 推薦入試(大学入学共通テストを課す)

実施学群・学類名	人間学群 心理学類																																								
募 集 人 員	12名																																								
推 薦 要 件 〔出願者の資格 及び推薦要件 推薦し得る数〕	出願し得る数は「IV 募集人員及び1校で推薦し得る数」を確認してください。 出願資格は「V 推薦入試 1 出願資格」を確認してください。 推薦要件は「V 推薦入試 2 推薦要件」を確認してください。																																								
選 抜 方 法 等	学校長の推薦に基づき、以下の第1次選考及び第2次選考により選抜します。  [第1次選考] 小論文及び面接を課し、その結果と提出書類(調査書、志望の動機等)等を含めて総合的に判定し、合格者を決定します。 ※英語資格・検定試験について、B1(CEFR)相当以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させます。  [第2次選考] 第1次選考合格者を対象に、大学入学共通テストにおいて本学が指定した教科・科目の得点が個別学力検査等の合格者とほぼ同等の水準の学力と判断し得る者を最終合格者とします。																																								
出 願 期 間	インターネット出願登録期間 :令和6年10月24日(木)～11月8日(金)9:00 出願書類提出期間 :令和6年11月1日(金)～8日(金)必着(持参不可)																																								
第 1 次 選 考 日	令和6年11月28日(木)～29日(金)																																								
第 1 次 選 考 合 格 者 発 表	令和6年12月11日(水)10:00																																								
大学入学共通テス ト成績請求票 の 提 出 期 限	令和6年12月19日(木)																																								
最 終 合 格 者 発 表	令和7年2月12日(水)9:00																																								
大学入学共通テス ト	<p>令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、選考の対象としません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科 目 名</th> <th>等</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>地歴 公民</td> <td>「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」</td> <td>から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>「数学 I、数学A」 「数学 II、数学B、数学C」</td> <td>計2</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>外 情</td> <td>「英語(リスニング含む。)」 「情報 I」</td> <td></td> <td>100 30</td> </tr> <tr> <td colspan="3">[6教科7科目]</td><td>合計530点</td></tr> </tbody> </table> <p>【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>地歴</td> <td>「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」</td> <td>から1</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>「旧数学 I・旧数学A」 「旧数学 II・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1</td> <td>計2</td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>「旧情報」</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。 具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。</p> <p><b>注意事項</b></p> <p>(1)「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校でこれらの科目を履修した者（「旧情報関係基礎」においては、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者）及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了者に限ります。</p> <p>(2) 地理歴史、公民の中から1科目を指定している募集区分において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。</p> <p>(3) 理科の中から1科目を指定している募集区分において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。</p> <p>(4) 英語はリーディングの成績(100点満点)の1.6倍(160点満点)とリスニングの成績(100点満点)の0.4倍(40点満点)を合計して用います(200点満点)。 リスニングを免除された者については、リーディングの成績(100点満点)を200点満点になるように換算します。 また、外国語の成績(200点満点)を学類の配点(100点)に換算します。</p> <p>推薦入試(大学入学共通テストを課す)の合格者が募集人員に満たない場合の欠員分は個別学力検査等の募集人員に加えます。</p> <p>本学の推薦入試(大学入学共通テストを課す)に合格した者が、本学の個別学力検査等前期日程及び後期日程に出願していた場合、個別学力検査等の検定料については、本人の申し出により13,000円から手数料を引いた額を返還します。</p>	教科	科 目 名	等	配点	国語	「国語」		100	地歴 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	から1	100	数	「数学 I、数学A」 「数学 II、数学B、数学C」	計2	100	理	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1		100	外 情	「英語(リスニング含む。)」 「情報 I」		100 30	[6教科7科目]			合計530点	地歴	「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」		公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」	から1	数	「旧数学 I・旧数学A」 「旧数学 II・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1	計2	情	「旧情報」	
教科	科 目 名	等	配点																																						
国語	「国語」		100																																						
地歴 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	から1	100																																						
数	「数学 I、数学A」 「数学 II、数学B、数学C」	計2	100																																						
理	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1		100																																						
外 情	「英語(リスニング含む。)」 「情報 I」		100 30																																						
[6教科7科目]			合計530点																																						
地歴	「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」																																								
公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」	から1																																							
数	「旧数学 I・旧数学A」 「旧数学 II・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1	計2																																							
情	「旧情報」																																								

## VII 推薦入試(専門高校・総合学科特別入試)

実施学群・学類名	生命環境学群 生物資源学類
募 集 人 員	若干名
出 請 要 件 〔出願者の資格 及び推薦要件 推薦し得る数〕	<p>1. 出願資格及び推薦要件[推薦書の推薦要件(1)にレ印を付してください。] 令和7年3月高等学校(中等教育学校を含む。)卒業見込みの者で、次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、かつ、校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者とします。</p> <p>(1) 農業、工業、商業、水産に関する専門高校を卒業見込みの者 (2) 総合学科を卒業見込みの者で、かつ、卒業に必要な単位のうち、農業、工業、商業、水産に関する教科・科目を25単位以上修得した者又は修得見込みの者</p> <p>2. 推薦し得る数 1校で推薦し得る数の制限はありません。</p>
選 抜 方 法 等	専門高校又は総合学科を設置する高等学校(中等教育学校を含む。)の校長の推薦に基づき、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、小論文及び面接を課し、調査書等を含めて総合的に判定して、合格者を決定します。
出 請 期 間	インターネット出願登録期間：令和6年10月24日(木)～11月8日(金)9:00 出願書類提出期間：令和6年11月1日(金)～8日(金)必着(持参不可)
試 験 日	令和6年11月28日(木)～29日(金)
合 格 者 発 表	令和6年12月11日(水)10:00
そ の 他	普通科を併設する高等学校の場合、普通科からは「V 推薦入試 1 出願資格」及び「V 推薦入試 2 推薦要件」に基づき出願してください。

## VIII 推薦入試(医学群医学類地域枠推薦)

実施学群・学類名	医学群 医学類
募 集 人 員	23名(茨城県内対象)※募集人員は認可申請時における予定人数であり、変更となる場合もあります。
出 請 要 件 〔出願者の資格 及び推薦要件 推薦し得る数〕	<p>1. 出願資格及び推薦要件[推薦書の推薦要件(1)にレ印を付してください。] 次の(1)～(5)の条件をすべて満たす者とします。</p> <p>(1) 次の①、②のいずれかに該当する者 ① 茨城県内の高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を令和7年3月卒業見込みの者又は卒業後1年以内の者 ② 保護者が出願期間の最終日において茨城県に3年以上居住している者で、県外の高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を令和7年3月卒業見込みの者又は卒業後1年以内の者 (2) 将来、茨城県の地域医療に貢献する熱意と能力を有し、卒業後に茨城県が指定する医療機関等で指定された期間従事できる者で、校長が責任をもって推薦できる者 (3) 学習成績概評がA段階の者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (4) 全教科がバランスよく優れている上に、英語、数学及び理科(物理学、化学、生物学のうち2科目)の能力が抜群で、医師となる資質が十分と考えられる者 (5) 茨城県が実施する「令和7年度茨城県地域医療医師修学資金貸与制度」に応募する者 (詳細は、茨城県保健医療部医療人材課医師確保グループ(電話029-301-3191)に照会してください。)</p> <p>2. 推薦し得る数 1校で推薦し得る数の制限はありません。</p>
選 択 方 法 等	校長の推薦に基づき、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、小論文及び適性試験を課し、その結果と校長が作成した推薦書・調査書、茨城県が作成した調査書及び志望の動機を総合的に判定して、合格者を決定します。
出 請 期 間	インターネット出願登録期間：令和6年10月24日(木)～11月8日(金)9:00 出願書類提出期間：令和6年11月1日(金)～8日(金)必着(持参不可)
試 験 日	令和6年11月28日(木)～29日(金)
合 格 者 発 表	令和6年12月11日(水)10:00
そ の 他	<p>(1) この推薦入試(地域枠推薦)は、国の医師確保政策に基づき、茨城県と連携し、将来、茨城県内の地域医療を担う人材を育成することを目的として実施します。 この入試の入学者は、「茨城県地域医療医師修学資金」の貸与申請を行うこととなります。 また、卒業後、令和7年度キャリア形成プログラムの対象となり、茨城県知事の指定する医療機関で9年間勤務(臨床研修期間を含む。)した場合に、返還が免除されます。 以下サイトに掲載された「茨城県地域医療医師修学資金貸与制度ガイドブック」、「茨城県修学生・修学生医師向けキャリア形成プログラム」及び「令和7年度地域医療医師修学資金貸与制度に係る募集要項」を熟読し、その内容を理解した上で応募してください。 &lt;茨城県地域医療医師修学資金貸与制度(地域枠)のご案内&gt; <a href="https://ibaraki-dl.jp/shugakukan-chiikiwaku/">(https://ibaraki-dl.jp/shugakukan-chiikiwaku/)</a></p> <p>(2) この推薦入試(地域枠推薦)は、本学が実施する他の推薦入試と併願できません。</p> <p>(3) 茨城県外の高等学校を卒業(見込み)の者は、保護者の住民票等(茨城県に3年以上居住していること及び本人との続柄がわかるもの)を提出してください。</p> <p>(4) 合格者の個人情報は、「IX共通事項 10 個人情報の取扱いについて」の他、事務処理上茨城県に情報提供します。</p> <p>(5) 地域枠推薦に関する問合せ先:医学医療エリア支援室学群教務(電話 029-853-3412)</p> <p>合格者が募集人員に満たない場合の欠員分は、個別学力検査等(前期日程)において、地域枠(茨城県内対象)の募集人員に加えます。</p>

## IX 共通事項

### 1 採点・評価基準

#### (1) 小論文及び面接等

学群・学類名	小論文	面接等
人文・文化学群	人文学類 哲学、史学、考古学・民俗学、言語学等の人文系諸分野の学習に必要な基礎的能力を評価します。特に文章の読み解き力と自分の考えを的確にまとめる表現力等を評価します。	個別面接：志望専攻分野に対する適応性と理解力を評価します。推薦要件(2)の志願者については、志望専攻分野に関する能力について、その知識と理解力を評価します。
	比較文化学類 小論文(1)では日本語の文章を、小論文(2)では英語の文章を課し、理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。	グループ面接：主として人文・社会事象に関するテーマについて、少人数でディスカッションを行い、理解力・思考力や意欲・関心を総合的に評価します。
	日本語・日本文化学類 言葉や文化に関する小論文を課して、その理解力、洞察力を評価します。	個別面接：旺盛な知的好奇心を持ち、日本語や日本文化を学ぶにふさわしい基礎学力や明確な問題意識を持っているかどうかを評価します。
社会・国際学群	社会学類 社会科学に関する論理的思考力、理解力及び独創性を評価します。	個別面接：小論文の内容に関する設問や口頭試問を通して、問題意識、志望分野への意欲、社会に対する関心・理解力・基礎的知識・分析力・問題解決能力、表現力、高等学校での活動状況等を総合的に評価します。
	国際総合学類 英語の学力に加えて、国際関係及び国際開発の現実的な問題に対する独自の視点と分析力とともに文章表現力等を総合的に評価します。	個別面接：日本語及び英語による現代国際社会に関連した問題を中心とし、理解力とコミュニケーション能力を総合的に評価します。
人間学群	教育学類の専門に関連する外国語（英語）を読ませ、外国語（英語）の読み解き力、論述における論旨の明確性、論理性等を評価します。	個別面接：志望動機の妥当性、関心の明確性、入学後の学習計画の適切性、高等学校での活動状況等を評価します。
	心理学類の専門に関連する外国語（英語）を読ませ、外国語（英語）の読み解き力、論述における論旨の明確性、論理性等を評価します。	個別面接：志望動機の妥当性、関心の明確性、入学後の学習計画の適切性、高等学校での活動状況等を評価します。
	障害科学類の専門に関連する外国語（英語）を読ませ、外国語（英語）の読み解き力、論述における論旨の明確性、論理性等を評価します。	個別面接：志望動機の妥当性、関心の明確性、入学後の学習に対する意欲、高等学校での活動状況等を評価します。
生命環境学群	生物学類 生物学の問題に対する理解力、論理的思考力、表現力及び英語の学力を評価します。	個別面接：生物学に対する考え方及び理解力、特に生物界や生き物の仕組みに関する広い興味と理解度を評価します。
	生物資源学類 生物資源に対する理解力、論理的思考力、独創性、表現力及び英語力を総合的に評価します。	個別面接：将来の希望、専攻したい分野とそれに関連した知識と理解度、論理性、積極性等を総合的に評価します。
	地球学類 理解力、論理的思考力、表現力、地球学への関心度及び英語力を評価します。	個別面接：志望動機、論理性、積極性、問題発見・分析・解決能力を総合的に評価します。
理工学群	数学類 数学について数課題を出題し、基礎学力、学問への関心度、問題意識及び独創性等を評価します。	個別面接：高等学校での活動歴、志望動機、学習に必要な基礎学力、問題発見・分析・解決能力等を評価します。
	物理学類 物理学について数課題を出題し、基礎学力、論理的思考力及び表現力等を評価します。	個別面接：高等学校での活動歴、志望動機、独創性、学習に必要な基礎学力、問題発見・分析・解決能力等を評価します。
	化学類 化学について数課題を出題し、基礎学力、学問への関心度、問題意識及び独創性等を評価します。	個別面接：高等学校での活動歴、志望動機、学習に必要な基礎学力、問題発見・分析・解決能力等を評価します。
	応用理工学類 自然科学を基礎とした工学の理解に必要な論理的思考力や表現力を判定するために、数学と英語を中心に評価します。	個別面接：論理的思考力、表現力に加え、志望の動機等勉学に対する意欲を評価します。(自然現象等についての説明や議論を含みます。)
	工学システム学類 工学分野を横断的にとらえ、実践するのに必要な数学、理科、英語の基礎力に基づく論理的思考力、問題解決能力及び論述表現を評価します。	個別面接：勉学に対する主体的な意欲、本人の希望分野と本学類の教育内容との適合及び学類のカリキュラム履修に必要な基礎学力を評価します。
	社会工学類 現代社会の課題や動きに関連する設問に論述形式で解答させ、英語力や論理的・数理的な分析力、社会的な事象についての関心の程度、表現力を評価します。	個別面接：小論文の内容に関する設問、志望動機に関する設問等により、社会現象への関心、英語力や論理的・数理的な思考能力等社会工学類での学習に必要な基礎学力を評価します。

学群・学類名		小論文	面接等
情報学群	情報科学類	情報科学や情報技術の学習に必要な学力、論理的思考能力、問題解決能力及び表現能力等を評価します。	個別面接：論理的思考能力、学習適格性、表現能力等を評価します。数学の口頭試問を含みます。
	情報メディア創成学類	情報メディアの科学と技術の学習に必要な学力、論理的思考能力、問題解決能力及び表現能力等を評価します。	個別面接：高等学校での活動歴、志望動機、論理的思考能力、学習適格性、表現能力等を評価します。数学の口頭試問を含みます。
	知識情報・図書館学類	知識情報・図書館学類での学習に必要な論理的思考力や理解力、表現力、広い視野からの発想等を評価します。	ビブリオバトル：小グループによるビブリオバトルを行い、説得力、コミュニケーション能力等を総合的に評価します。(注1)
医学群	医学類	英語（読解力・作文力）、数学、理科（物理学、化学、生物学のうち2科目）の総合的学力を測定するとともに、論理的思考力、表現力を評価します。	適性試験（1）：筆記試験により、適応力や学習意欲、人間性等を評価します。 適性試験（2）：個別面接により、医学を志向する動機、修学の継続力、適性、感性、社会的適応力等総合的な人間性について評価します。
	看護学類	小論文（1）では和文を、小論文（2）では英文を課し、問題意識、論理的思考力、文章表現力を総合的に評価します。	個別面接：看護学を志向する動機、適性、感性、社会的適応力等人間性について総合的に評価します。
	医療科学類	小論文（1）では英文を、小論文（2）では和文を課し、英語の総合的学力と数学・理科の基礎的学力を評価するとともに、論理的思考力、文章表現力を総合的に評価します。	個別面接：医療を志向する動機、適性、感性、社会的適応力等人間性について総合的に評価します。
体育専門学群	保健体育・スポーツに関わる文章問題を出題し、選択形式と論述形式（600字程度）で解答させ、読解力、思考力、判断力及び文章表現力を総合的に評価します。	個別面接：体育・スポーツ、健康、コーチングの専門家となるための一般的資質（意欲、自己の体育・スポーツに対する考え方、社会常識、リーダーシップ能力等）、特技とする運動種目についての独自の考え方や取り組み、思考力及び表現力等を評価します。	
芸術専門学群			個別面接：芸術に対する関心度や意欲、将来性、社会性をみます。実技検査の自己評価も問います。

(注1) 知識情報・図書館学類のビブリオバトルによる面接についての詳細は学類Webサイトの「入試情報>推薦入試(ビブリオバトル方式)」を確認してください。[\(https://klis.tsukuba.ac.jp/biblio\\_battle.html\)](https://klis.tsukuba.ac.jp/biblio_battle.html)

## (2) 実技検査

学群名	実技検査
体育専門学群	当該種目に関する基礎及び応用技能について検査し、併せて運動特技として記された内容の妥当性を評価します。 本来の特技とする運動種目と異なる種目での受験を余儀なくされた受験者については、自己の特技とする運動種目に関して追加面接を実施します。 また、それ以外の受験者に対しても、必要に応じて同様の面接を行う場合があります。
芸術専門学群	芸術に関する基礎的表現力、適性、感性、主体性等について評価します。

### (3) 英語資格・検定試験

4技能(「聞く／Listening」, 「話す／Speaking」, 「読む／Reading」, 「書く／Writing」)のスコアが掲載された有効期限内の合格証明書又は成績証明書がある場合には、原本を提出してください。(コピー不可)

3技能以下のスコアを提出した場合は評価に反映することができません。

なお、英語資格・検定試験の受験は出願資格ではありません。

学群・学類名	実施方法
社会・国際学群 国際総合学類	B2(CEFR)相当以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させます。
医学群 医学類	C1(CEFR)相当以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させます。
上記学類を除いた 学群・学類	B1(CEFR)相当以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させます。

各英語資格・検定試験とCEFRとの対照表

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語 技能検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W (注1)
C2	230   200			9.0   8.5				
C1	199   180	3299   2600	1400   1350	8.0   7.0	400   375	800   795	120   95	1990   1845
B2	179   160	2599   2300	1349   1180	6.5   5.5	374   309	795   600	94   72	1840   1560
B1	159   140	2299   1950	1179   930	5.0   4.0	308   225	595   420	71   42	1555   1150

(注1) TOEIC L&R/TOEIC S&W については、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定します。

指定されたスコアを有する場合は、スコアが掲載された以下のいずれか一つの証明書(原本)を提出してください。複数の検定試験の証明書を提出された場合は受付できません。

提出された証明書は返却できませんので、やむを得ず原本の提出が難しい場合は、証明書の写しに出身校長の公印を押印し、原本と相違ないとの証明を受けたものを郵送してください。

なお、証明書の提出は有効期限内のものに限ります。証明書の有効期限は、各検定機構のWebサイトから確認してください。

提出に関する詳細は、「IX 共通事項 2 出願方法 (8)出願書類等」を確認してください。

ケンブリッジ英語検定	「認定証」(Certificate) 又は「結果ステートメント」(Statement of Results)
実用英語技能検定	「合格証明書」(PROOF OF EIKEN CERTIFICATION) 又は「英検CSEスコア証明書」 ※従来型、新方式[CBT, S-CBT, S-Interview]いずれの試験も対象とします。 ※個人成績表、デジタル証明書の提出は不可
GTEC	「オフィシャルスコア証明書」(OFFICIAL SCORE CERTIFICATE) ※GTEC検定版及びGTEC CBTを対象とします。GTECアセスメント版は対象としません。
IELTS	「成績証明書」(Test Report Form) ※アカデミック・モジュールタイプのみ対象とします。 ※One Skill Retakeは活用しません。
TEAP, TEAP CBT	「成績表」(OFFICIAL SCORE REPORT)
TOEFL iBT	「受験者用控えスコアレポート」(Test Taker Score Report) ※TOEFL iBT Home Editionも対象とします。 スコアは、Test Dateスコアを活用します。MyBest™スコアは活用しません。
TOEIC	「公式認定証(紙)」又は「デジタル公式認定証(PDF)の印刷物」 ※TOEIC L&R及びTOEIC S&Wの両方のスコアが必要です。

## 2 出願方法

### (1) 出願期間

インターネット出願登録期間及び検定料払込期間

令和6年10月24日(木)～11月8日(金)9:00

出願に必要な書類の郵送期間(持参不可)

令和6年11月1日(金)～8日(金)必着

以下の「(5)出願にあたっての注意事項」を確認の上、「IX 共通事項 11 問合せ先」へ簡易書留・速達で郵送してください。

なお、出願期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても受理しませんので、郵送期間を十分考慮の上、送付してください。

本学への到着日を指定して郵送する方法もあります。詳しくは郵便局へ問い合わせてください。

また、出願書類は、出願用封筒に志願者ごとに封入し、推薦学校長が当該学校での志願者全員分を一括して別封筒に封入の上、当該封筒の表面に「推薦入試願書(○名分)在中」と朱書きし、必ず簡易書留・速達で郵送してください。

推薦人数が1名の場合は、当該学校の了解の上、志願者本人が出願用封筒にて郵送しても差し支えありません。

### (2) 検定料等

① 出願登録の際に払い込みが必要な金額

ア 検定料 17,000円

イ 入学試験成績送付料 460円(成績開示希望者のみ)

※以上の他に、インターネット出願登録に伴う事務手数料が必要となります。

② 検定料の免除

本学が指定する災害の被災者に対する検定料の免除措置があります。詳しくは、本学Webサイトを確認してください。  
(<https://www.tsukuba.ac.jp/news/20200710152909.html>)

③ 検定料の返還

ア 検定料を払い込んだが出願をしなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった。)場合は、申し出てください。

イ 検定料を二重に払い込んだ場合は申し出てください。

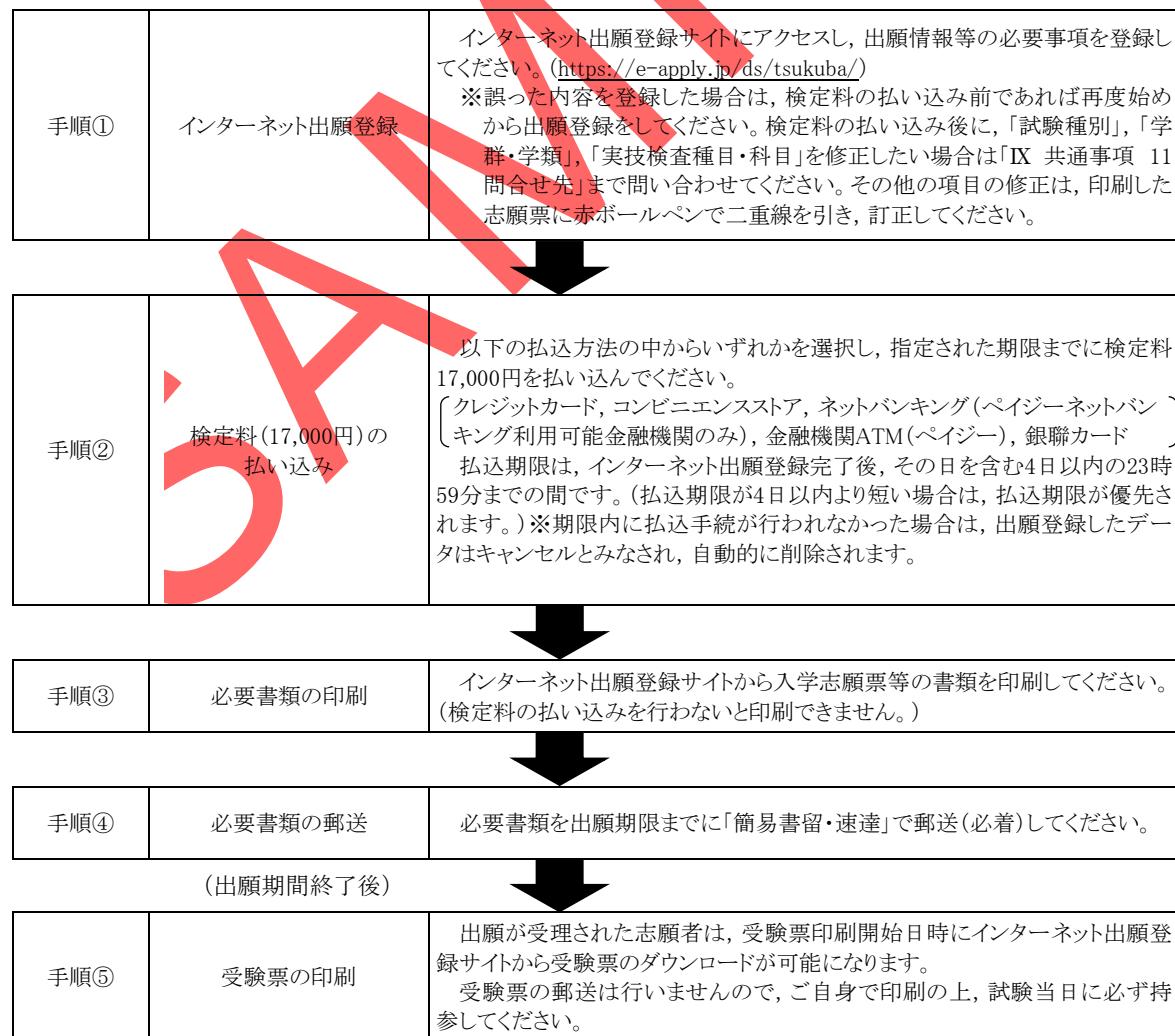
※上記ア、イに該当する者以外には、いかなる理由があっても払込済の検定料は返還しません。

※返還額は、検定料から手数料を差し引いた金額となります。

### (3) 出願の流れ

以下の手順に従って出願を行ってください。インターネット出願登録だけでは出願は完了せず、全ての書類を出願期限内に到着するように郵送する必要があります。

出願期間内に到着した出願書類に不備が無く、かつ出願資格を有することが確認された時点で、出願手続が完了します。



#### (4) 留意事項

- ア 国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ)の推薦入試(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)への出願は、一つの大学・学部のみです。  
※公立大学協会Webサイト参照(<http://www.kodaikyo.org/>)
- イ 本学のアドミッションセンター入試、国際科学オリンピック特別入試、国際バカロレア特別入試及び海外教育プログラム特別入試に合格した者は、推薦入試の合格者とはなりません。
- ウ 推薦入試に出願した者は、国際バカロレア特別入試(10月募集)及び外国学校経験者特別入試(10月募集)に出願できません。

#### (5) 出願にあたっての注意事項

- ア 「インターネット出願」は、インターネット出願登録サイトでの登録(Web入力)だけでは出願手続完了とはなりません。  
検定料を期限内に払い込み、本学に出願書類等(21ページ参照)を出願期間内に簡易書留・速達で郵送する必要があります。
- イ 登録するメールアドレスは、出願者本人と直接連絡が取れるメールアドレスとしてください。
- ウ 提出書類が不足していたり、記載事項に不備がある場合には、出願書類は受理されません。
- エ 出願後の志望学群・学類、実技検査種目・科目等の変更は認めません。
- オ 出願書類は返却しません。
- カ 入学許可後、出願書類の記載事項が事実に相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。この場合、既納の入学料は返還しません。
- キ 提出書類に必要事項を記入する際は、油性の黒ボールペンを使用してください。

#### (6) 入試に関する問合せ先

不明な点等がある場合には、「IX 共通事項 11 問合せ先」まで問い合わせてください。

#### (7) インターネット出願サイトの操作方法・検定料払込方法に関する問合せ先

株式会社キャリタス「学び・教育」サポートセンター

電話 0120-202-079

土・日・祝日を除く 10:00～18:00

##### インターネット出願サイトへのログインについて

インターネット出願では、検定料払込時、必要書類印刷時、受験票印刷時等に、インターネット出願サイトへのログインが必要になります。インターネット出願サイトへアクセスの上、マイページ登録時の「メールアドレス」、「パスワード」を入力し、マイページへログインしてください。

## (8) 出願書類等

出願には、インターネットによる出願登録及び次の書類の郵送が必要です。下表の1, 4, 5, 6, 14の書類は出願登録サイトから2, 7, 8, 10は大学入試情報サイトからダウンロードし、A4サイズの用紙に印刷して使用してください。

出願登録及び書類のダウンロードは、大学入試情報サイトの入試日程と募集要項ページから行ってください。

(<https://ac.tsukuba.ac.jp/apply/application-guidelines/>)

出願登録後は、下表の必要書類等を簡易書留・速達で筑波大学に郵送してください。

書類等	提出対象者	摘要
1 入学志願票 〔出願登録サイトから印刷〕	全員	インターネット出願登録サイトからA4サイズでカラー印刷してください。
2 推薦書 〔大学入試情報サイトからダウンロード〕	全員	<p>本学所定の様式を用いて推薦校長が作成し、厳封したものを提出してください。ダウンロードした様式に直接パソコンで入力することも可能です。</p> <p>推薦要件(1)の場合:客観的資料の添付は不要です。(体育専門学群を除く。)</p> <p>提出された場合、不要な書類は評価の対象となりません。 推薦書のみを厳封して提出してください。</p> <p>推薦要件(2)の場合:推薦要件を証明する客観的資料があればともに厳封してください。 ただし、芸術専門学群で作品写真等を客観的資料として提出する場合は、推薦書に厳封せずに、以下の「9 芸術特技に関する作品写真」の指示に従ってください。</p> <p>推薦要件(3)の場合:客観的資料の添付は不要です。 提出された場合、不要な書類は評価の対象となりません。 推薦書のみを厳封して提出してください。 推薦書とは別に、志願者本人が作成した「活動報告書」を提出してください。</p>
3 調査書	全員	<p>該当する出願資格に応じて、(1)～(7)のいずれかを提出してください。なお、(2)～(7)の各証明書は令和6年4月以降に作成されたものに限ります。</p> <p>(1) 高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を卒業した者及び卒業見込みの者は、文部科学省が定めた様式により、出身校長が作成し、厳封した調査書を提出してください。</p> <p>高等学校等既卒者は令和6年4月以降に、卒業見込みの者は令和6年8月以降に作成されたものに限ります。</p> <p>受験希望の学群、学類等に対する能力・適性等について校長が特に推薦できる生徒については、その旨を「備考」欄に具体的に記入してください。</p> <p>廃校、被災、その他の事情により調査書が得られない場合は、高等学校が証明する次の①～③の書類をすべて提出してください。</p> <p>① 調査書を発行できない旨の理由書(得難い場合は本人作成のもの。) ② 卒業証明書 ③ 単位修得証明書又は成績証明書</p> <p>(2) 高等専門学校第3年次及び在外教育施設を修了(修了見込み)の者は、所定の様式に準じて出身校長が作成し厳封したものを提出してください。</p> <p>(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了(修了見込み)の者は、調査書に代えて、高等学校(中等教育)3年間の成績証明書を提出してください。</p> <p>なお、Diplomaの写し又は卒業(修了)を証明する書類も併せて提出してください。 また、日本国の高等学校に在学したことがある場合は、文部科学省の定めた様式により、当該高等学校が作成した調査書を併せて提出してください。 ※調査書が得られない場合は、「成績証明書」又は「単位修得証明書」を提出してください。</p> <p>(4) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局 (International Baccalaureate Office)が授与する国際バカロレア資格を有する者は、次のア～ウの書類をすべて提出してください。</p> <p>ア 国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)の写し イ IB最終試験の成績証明書の写し(志願者は、本学が国際バカロレア機構から成績入手できるようにする手続きを取り、インターネット上の成績の写しを提出すること。) ウ 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書</p>

書類等	提出対象者	摘要
3 調査書	全員	<p>(5) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められるアビトゥア資格を有する者は、次のアとイの書類をいずれも提出してください。</p> <p>ア 一般的大学入学資格証明書(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)と共に記載されている成績の写し イ 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書</p> <p>(6) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者は、次のアとイの書類をいずれも提出してください。</p> <p>ア バカロレア資格証書(Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)の写しとバカロレア資格試験成績証明書(Relevé des Notes) イ 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書</p> <p>(7) 英国において大学入学資格として認められているGCE Advancedレベル資格又は国際Aレベル資格を有する者は、次のアとイの書類をいずれも提出してください。</p> <p>ア GCE(General Certificate of Education)又は国際Aレベル資格の成績評価証明書 イ 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書</p> <p>(8) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を有する者は、次のアとイの書類をいずれも提出してください。</p> <p>ア 欧州バカロレア資格証書の写しと欧州バカロレア資格試験成績証明書 イ 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書</p> <p>※成績証明書及び卒業(修了)証明書が英語以外の外国文である場合には、日本語又は英語による翻訳文(当該高等学校又は公の機関が証明したもの。)を併せて提出してください。</p>
4 写真票 〔出願登録サイトから印刷〕	全員	<p>写真票は本人確認に使用します。インターネット出願登録サイトからA4サイズでカラー印刷してください。(入学志願票と同時に印刷できます。)</p> <p>出願登録の際に、顔写真的データ(JPEG/PNG/BMP/GIF, 10MB以下)のアップロードが必要です。上半身・無帽・正面向きで出願する前3か月以内に撮影したものを事前に準備してください。受験時に眼鏡を使用する場合は、眼鏡をかけて撮影してください。アップロードした顔写真は、写真票に印刷されます。</p>
5 体育実技検査票 〔出願登録サイトから印刷〕	体育専門学群志願者	インターネット出願登録サイトからA4サイズでカラー印刷してください。
6 健康状態に関する調査票 〔出願登録サイトから印刷〕	体育専門学群志願者	インターネット出願登録サイトからA4サイズでカラー印刷してください。 なお、出願書類の中の体格や疾病等に関する項目は実技検査を安全に行うために使用します。
7 運動特技に関する調査書 〔大学入試情報サイトからダウンロード〕	体育専門学群志願者	<p>本学所定様式を用いて、推薦校長が作成し、厳封したものを提出してください。 ダウンロードした様式に直接パソコンで入力することも可能です。</p> <p>また、運動特技に関する調査書に記載した成績・記録の事實を証明できる資料(表彰状の写し、大会結果や出場選手が分かるWebサイトの印刷物、新聞・雑誌記事の切り抜き等)を併せて提出してください。なお、事實を証明できる資料の厳封は不要です。</p>
8 志望の動機 〔大学入試情報サイトからダウンロード〕	右記学類の志願者	本学所定様式を用いて、自筆の「志望の動機」を600字以内にまとめ、提出してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">           人文学類、比較文化学類、教育学類、心理学類、障害科学類、            生物学類、生物資源学類、地球学類、数学類、物理学類、化学類、            知識情報・図書館学類、医学類、看護学類、医療科学類         </div>
9 芸術特技に関する作品写真	芸術専門学群志願者	推薦要件(1)と推薦要件(2)に関わらず、提示したい作品等(推薦要件(2)の客観的資料として提出する作品を含む。)がある場合には、A4サイズの用紙に作品写真を印刷又は貼り付けの上、左上1か所をホチキス等で綴じたものを提出してください。用紙には氏名を記入してください。
10 活動報告書 〔大学入試情報サイトからダウンロード〕	推薦要件(3)で志願する者	留学・国際交流等の経験や、研究活動の概要をA4サイズ(片面)で表紙を含めて5ページ以内にまとめたものを志願者本人が作成してください。必要に応じて、内容の裏付けとなる資料の添付も可とします。 なお、「活動報告書(表紙)」を大学入試情報サイトから印刷し、必要事項を記入して、活動報告書の表紙としてください。

書類等	提出対象者	摘要
11 英語資格・検定試験の合格証明書又は成績証明書	対象者	<p>18ページに掲載されている指定されたスコアを有する場合には、以下検定試験からいずれか一つの書類(原本)を提出してください。複数の検定試験の証明書を提出された場合は受付できません。証明書は、必ず4技能のスコアが掲載された有効期限内のものを提出してください。(受験時期は問いません)</p> <p>提出された証明書は返却できませんので、やむを得ず原本の提出が難しい場合は、証明書の写しに出身校長の公印を押印し、原本と相違ないとの証明を受けたものを郵送してください。</p> <p>ケンブリッジ英語検定 「認定証」(Certificate)又は「結果ステートメント」(Statement of Results)</p> <p>実用英語技能検定 「合格証明書」(PROOF OF EIEN CERTIFICATION)又は「英検CSEスコア証明書」 ※従来型、新方式[CBT, S-CBT, S-Interview]いずれの試験も対象とします。</p> <p><b>※個人成績表、デジタル証明書の提出は不可</b></p> <p>GTEC 「オフィシャルスコア証明書」(OFFICIAL SCORE CERTIFICATE) ※GTEC検定版及びGTEC CBTを対象とします。GTECアセスメント版は対象としません。</p> <p>IELTS 「成績証明書」(Test Report Form) ※アカデミック・モジュールタイプのみ対象とします。 ※One Skill Retakeは活用しません。</p> <p>TEAP, TEAP CBT 「成績表」(OFFICIAL SCORE REPORT)</p> <p>TOEFL iBT 「受験者用控えスコアレポート」(Test Taker Score Report) ※スコアは、Test Dateスコアを活用します。MyBest™スコアは活用しません。 TOEFL iBT Home Editionのスコア票を提出する場合は、以下の①、②両方の手続きを必ず行ってください。 ① Test Taker Score Reportの原本を提出してください。 ② TOEFL iBT Home Editionの受験時にOfficial Score ReportをETSから大学へ直送する手続きを行ってください。出願期間内までに大学にデータが届かない場合は出願書類として受け付けられません。(Institution(DI)コード:C238)</p> <p>TOEIC 「公式認定証(紙)」又は「デジタル公式認定証(PDF)の印刷物」 ※TOEIC L&amp;R及びTOEIC S&amp;Wの両方のスコアが必要です。</p>
12 茨城県が作成した調査書	医学群医学類地域枠推薦志願者	茨城県が実施する「令和7年度茨城県地域医療医師修学資金貸与制度」に必ず事前に応募してから出願してください。 詳細は、茨城県保健医療部医療局医療人材課医師確保グループ(電話029-301-3191)に照会してください。調査書は茨城県から筑波大学へ直接送付されます。
13 住民票等	医学群医学類地域枠推薦志願者	茨城県外の高等学校を卒業(見込み)の者は、保護者の住民票等(茨城県に3年以上居住していること及び本人との続柄がわかるもの)を提出してください。
14 出願用封筒・大学あて名シート・出願書類確認票・[出願登録サイトから印刷]	全員	出願書類を郵送するための封筒として「出願用封筒(市販の角形2号封筒 縦33.2cm×横24cm)」を用意し、封筒の表面に「大学あて名シート」を、封筒の裏面に「出願書類確認票」をしっかりと貼り付けてください。 なお、「大学あて名シート」はカラーで印刷してください。
15 在留カードの写し等(外国籍の者)	日本国に永住許可を受けていいる者	在留カードの両面の写し(在留期間満了日前であれば外国人登録証明書でも可)又は、国籍及び在留資格を確認できるもの(パスポートの写し、在日公館の証明書等)を提出してください。(国籍及び在留資格を確認できるものは、日本語又は英語で作成されたものとし、これらの言語以外の場合は翻訳文を添付。)

\*改氏名により、現在の氏名が調査書や証明書の氏名と異なる場合は、戸籍抄本(写可)を添付してください。

\*日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を受けている者で、外国の高等学校を卒業又は卒業見込みの者が、

次の国家試験等の統一試験を受けている場合は、その成績評価証明書の写しを提出してください。

なお、統一試験の成績評価証明書を提出できない場合であっても、選考上不利になることはありません。

(1) アメリカ合衆国の教育制度によるもの…College Entrance Examination Board (CEEB) 及び Educational Testing Service (ETS) の実施する次の試験の成績評価証明書

ア Scholastic Assessment Test (SAT)

イ Achievement Tests

ウ Test of English as a Foreign Language (TOEFL)

(2) その他の国の教育制度によるもの…統一試験のある国については、その規則に従って受験している場合、成績評価証明書及び統一試験についての公式資料

## (9)受験票のダウンロード及び印刷

出願が受理された志願者は、受験票印刷開始日時以降にインターネット出願登録サイトから受験票のダウンロードが可能になります。  
受験票の郵送は行いませんので、ご自身で印刷の上、試験当日に必ず持参してください。  
その他に持参するもの等については、「IX 共通事項 6 受験についての注意事項」を確認してください。  
受験票の印刷開始日時：令和6年11月15日（金）9:00（時間は前後する場合があります。）

### 【受験票に関する注意事項】

- ア 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、「IX 共通事項 11 問合せ先」へ令和6年11月21日（木）までに連絡してください。  
また、パソコン等に表示された受験番号と、印刷後の受験番号が一致していることを必ず確認してください。
- イ 受験票印刷開始日時以降に印刷ができない場合は「IX 共通事項 11 問合せ先」へ、令和6年11月21日（木）までに連絡してください。
- ウ 指定された試験場を「IX 共通事項 12 試験場配置図及び交通機関」で確認の上、受験してください。
- エ インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。
- オ スマートフォン等による受験票の提示は認めませんので、必ず印刷した受験票を持参してください。
- カ 受験票は、入学手続においても必要となりますので、大切に保管しておいてください。

## 3 障害等のある入学志願者の事前相談

受験上の配慮を必要とする者は、以下の流れに従って配慮を申請してください。

### （1）配慮申請の流れ

- ア 以下の大学入試情報サイト内のフォームから配慮を申請してください。申請内容を確認後、本学よりメールにて「筑波大学入学試験受験相談申込書（様式）」を送付します。

#### 【受験上の配慮申請フォーム】

大学入試情報サイト>受験する>受験上の配慮申請  
(<https://ac.tsukuba.ac.jp/apply/care>)

- イ 「筑波大学入学試験 受験相談申込書」に必要事項を記入しメールで返信してください。
- ウ ①障害の程度等を記載した医師の診断書（補助用具を必要とする等の所見を含む。）の原本、②持ち込みを希望する補助用具等の写真（該当者のみ）を締切日までに「IX 共通事項 11 問合せ先」まで郵送してください。
- エ 本学より、「配慮事項決定通知書」をメール又は郵送にて送付します。

### （2）配慮申請の郵送締切日

令和6年10月2日（水）

### （3）配慮申請の郵送締切日

- ア 提出された書類により、関係学群・学類において協議の上、配慮内容を決定します。配慮内容の検討にあたって、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等に照会することがあります。
- イ 配慮申請後に、出願する学類に変更が生じた場合は、速やかに「IX 共通事項 11 問合せ先」まで連絡してください。
- ウ 締切日以降の申請には対応できない場合があります。また、内容によっては希望する配慮内容に対応できない場合もあります。
- エ 出願後、不慮の事故等により、合理的な配慮が必要となった者は、締切日にかかわらず、「IX 共通事項 11 問合せ先」まで速やかに相談してください。

## 4 選抜方法

入学志願者に対して、小論文（芸術専門学群を除く。）、面接、適性試験（医学群医学類）、実技検査（体育専門学群及び芸術専門学群）を課し、提出書類等を含めて総合的に判定して、合格者を決定します。

また、人間学群心理学類については第1次選考及び第2次選考により選抜します。第1次選考では小論文及び面接を課し、提出書類等を含めて総合的に判定して、合格者を決定します。また、第2次選考では第1次選考合格者を対象に、大学入学共通テストを課し、最終合格者を決定します。

## 5 試験日程・試験科目等

### (1) 日程及び試験場

学群学類名	日時	11月28日 (木)								11月29日 (金)		試験場	
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	10:00	12:00	13:00	
人文化 学群	人文学類	小論文	休憩	面接									第一試験場
	比較文化学類	小論文(1)	休憩	小論文(2)						面接			第二試験場
	日本語・日本文化 学類	小論文								面接			
国社会 学群	社会学類	小論文	休憩	面接									第一試験場
	国際総合学類	小論文	休憩	面接									第三試験場
人間学 群	教育学類	小論文								面接			第二試験場
	心理学類	小論文								面接			
	障害科学類	小論文								面接			
生命環 境学 群	生物学類	小論文								面接			第二試験場
	生物資源学類	小論文								面接			
	地球学類	小論文								面接			第一試験場
理工学 群	数学類	小論文								面接			第一試験場
	物理学類	小論文								面接			
	化学類	小論文								面接			
	応用理工学類	小論文								面接			
	工学システム学類	小論文								面接			第三試験場
	社会工学類	小論文								面接			
情報学 群	情報科学類	小論文	休憩	面接									第三試験場
	情報メディア創成学類	小論文	休憩	面接									春日試験場
	知識情報図書館学類	小論文		面接(注1)									
医学 群	医学類	小論文(1)	休憩	小論文(2)	休憩	適性 試験(1)				適性試験(2)			医学試験場
	看護学類	小論文(1)	休憩	小論文(2)						面接			
	医療科学類	小論文(1)	休憩	小論文(2)						面接			
体育専門学群		小論文	精密健診	休憩	実技検査					面接	休憩 (再健診)	面接	体育・芸術 試験場 及び体育施設
芸術専門学群		実技検査 (午前)	休憩	実技検査 (午後)						面接			体育・芸術 試験場

(注1) 知識情報・図書館学類では、小論文終了後、第1グループの面接を開始します。それ以外のグループは休憩となります。グループは当日発表します。

※各学群・学類の小論文、面接、適性試験及び実技検査の実施時間は、試験当日各試験場に掲示します。

※体育専門学群及び芸術専門学群の実技検査は、次ページの表のうちから、事前に選択した種目・科目について実施します。

※受験者は、試験日程に従って指定された各試験等を全て受験しなければなりません。指定された試験等を一つでも受験しなかった場合は欠席扱いとなり、選考の対象外となります。

※やむを得ず当日の試験を欠席する場合は、推薦した出身学校を通じて「IX 共通事項 11 問合せ先」に連絡してください。

## (2) 実技検査科目

### 【体育専門学群】

下表の実技検査種目の中から1種目を出願登録時に選択してください。なお、本来の特技とする運動種目と異なる種目での受験を余儀なくされた受験者については、自己の特技とする運動種目に関して追加面接を実施します。また、それ以外の受験者に対しても、必要に応じて同様の面接を行う場合があります。

記号	種目	記号	種目	記号	種目	記号	種目
B	体操競技	G	ハンドボール	K	ラグビー	O	バドミントン
C	ダンス	H	バレーボール	L	硬式野球	P	柔道
D	陸上競技	I	バスケットボール	M	テニス(硬式)	Q	剣道
E	水泳	J	サッカー	N	卓球	R	弓道

### 【芸術専門学群】

下表の実技検査科目のうち、午前に受験する実技検査科目をA1又はA2から1科目、午後に受験する実技検査科目をP1～P5から1科目、出願登録時に選択してください。

時間帯	科目記号	実技検査科目
午前 (2時間)	A1	論述
	A2	鉛筆デッサン
午後 (4時間)	P1	論述(鑑賞)
	P2	論述(デザイン構想)
	P3	デッサン(木炭又は鉛筆)
	P4	平面構成
	P5	書

※芸術専門学群の実技検査の詳細は、芸術専門学群Webサイト「受験生の皆さんへ」の入試情報のページを確認してください。  
(<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/6045/>)

## (3) 精密健診

体育専門学群では、実技検査を安全に実施するために、また、入学後の授業で実技実習が必修として課せられるために、「健康状態に関する調査票」により、必要と認めた者については、精密健診を行います。

なお、精密健診の結果により、本学が必要と認めた者は再健診を行います。該当者には試験当日、試験場において本人あて通知します。

## 6 受験についての注意事項

### (1) 試験当日に持参するもの

#### 【各学群・学類受験者共通】

- ア 筑波大学受験票
- イ 筆記具(鉛筆[シャープペンシルも可]、消しゴム等)
- ウ 昼食
- エ 時計(計時機能だけのもの)

上記のほかに、体育専門学群及び芸術専門学群の受験者は、次のものを用意してください。

#### 【体育専門学群受験者】

- ア 受験する実技検査種目に適する服装・用具(例えば、水泳着、スパイクシューズ、グローブ、柔道着、竹刀等)
  - ・陸上競技の実技検査に使用できるシューズについては、2024年度日本陸上競技連盟競技規則の競技用靴に関する規程を確認してください。
  - ・棒高跳用ポールは各自で用意してください。送付については「IX 共通事項 11 問合せ先 (2) 実技検査に関する問合せ先」に電話で問い合わせさせてください。
    - ・投げき物は大学が用意したものを使用しますので、持参する必要はありません。
- イ 体育館シューズ、グラウンドシューズ及びシューズを入れる袋(必ず持参)
- ウ Iバスケットボール、L硬式野球、Mテニス(硬式)、N卓球、Oバドミントンの受験者は、ゼッケン(縦 15cm×横 20cmの白布に受験番号を記入したもの。)を作成し、受験するときの服装の背部に縫い付けておいてください。
- エ 更衣室の使用については当日指示しますが、更衣後の衣服等を入れる袋やバッグ等は、各自で用意してください。

【芸術専門学群受験者】

時間帯	科目記号	実技検査科目	携 行 品
午前 (2時間)	A1	論述	鉛筆(シャープペンシルも可), 消しゴム, 鉛筆削り
	A2	鉛筆デッサン	鉛筆, 消しゴム, 練り消しゴム, カッターナイフ(鉛筆削りも可), 以下は任意(デスケール, はかり棒, サンドペーパー, 擦筆, ティッシュペーパー, ガーゼ)
午後 (4時間)	P1	論述(鑑賞)	鉛筆(シャープペンシルも可), 消しゴム, 鉛筆削り
	P2	論述 (デザイン構想)	鉛筆(シャープペンシルも可), 色鉛筆(12色まで), 消しゴム, 練り消しゴム, カッターナイフ(鉛筆削りも可), コンパス, 直定規
	P3	デッサン (木炭又は鉛筆)	木炭, 鉛筆, 消しゴム, 練り消しゴム, カッターナイフ(鉛筆削りも可), 新聞紙2~3枚(木炭紙下敷き用), 以下は任意(食パン, デスケール, はかり棒, サンドペーパー, 擦筆, ティッシュペーパー, ガーゼ)
	P4	平面構成	鉛筆(シャープペンシルも可), 消しゴム, 水差し, 直定規, 三角定規, コンパス, カッターナイフ(鉛筆削りも可), カラスロ, カラスロコンパス, 溝引き用の棒, マスキングテープ, 不透明水彩絵具(アクリルガッシュ, ポスターカラー等), 彩色用具(パレット又は絵具皿, 筆, 筆洗, ラップフィルム), 雑巾, 以下は任意(羽ぼうき, 練り消しゴム, ガーゼ, ティッシュペーパー, ウエットティッシュ等)
	P5	書	毛筆(漢字・仮名用, 大小各種), 墨, 砚, 文鎮, 水滴, 鉛筆, 赤サインペン

※実技検査では、表の携行品以外の物品は使用できません。また、物品の貸し出しを行いません。(配付物を除く。)

※実技検査に関する問合せは「IX 共通事項 11 問合せ先(2)実技検査に関する問合せ先」まで問い合わせてください。

(2) 試験時の注意事項

- ア 受験者は、試験日程に従って指定された各試験等を全て受験しなければなりません。  
指定された試験等を一つでも受験しなかった場合は欠席扱いとなり、選考の対象外となります。
- イ 体育専門学群の精密健診は、本学保健管理センターで行います。  
なお、精密健診の該当者は試験場において本人あて通知します。  
また、精密健診の結果、再健診の必要がある者については、試験当日、試験場において本人あて通知します。
- ウ 受験者は、試験当日9:30までに各試験場に来てください。試験室への入室開始は9:00を予定しています。  
なお、2目については、各学群・学類の指示に従ってください。
- エ 「日程及び試験場」は25ページを、「試験場配置図及び交通機関」は30ページをそれぞれ確認してください。
- オ 筑波大学受験票は各自で印刷をし、必ず持参してください。  
なお、受験票を忘れた場合は、試験当日の試験開始前に当該試験場の本部に申し出てください。
- カ 試験(面接及び実技検査を含む。)開始後30分を超えた遅刻者は、受験を認めません。
- キ 受験者は、試験開始15分前までに各自指定された試験室の所定の席に着席してください。
- ク 小論文においては、下敷きとあらゆる種類の計算機の使用を禁じます。  
また、英文字や地図等が表示された衣服の着用及び故事・格言等が印刷された鉛筆等の使用を禁じます。
- ケ 机の上には、「受験票(机上の受験番号札の手前に置く)」「鉛筆(シャープペンシルも可)」「消しゴム」「鉛筆削り」「時計(計時機能だけのもの)」「眼鏡」「ハンカチ」「目薬」「ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)」以外のものは置かないでください。  
ただし、実技検査受験の際は、監督者の指示に従ってください。  
また、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチ、スマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類は、試験会場(実技検査会場を含む。)に入る前に必ずアラームを解除し、電源を切って、かばん等に入れておいてください。試験時間中に使用した場合は、不正行為とみなします。
- コ 解答用紙の所定欄に、学群・学類、氏名及び受験番号を楷書で丁寧に記入してください。未記入、判読不能なときは採点しません。
- サ 事前選択の実技検査種目・科目等については、事前選択した種目・科目以外の受験は認めません。
- シ 試験妨害行為又は不正行為があったときは、直ちに退室を命じ、その後の受験は認めません。既に受けた試験の成績も無効になります。  
また、状況により警察へ被害届を提出する等の対応を取る場合があります。
- ス 試験時間中の途中退室は、原則として認めません。(発病又はトイレ等による一時退室を除く。)
- セ 試験時間中にトイレ等のため席を立つときは、挙手をして監督者に申し出て、その指示に従ってください。
- ソ 試験時間が終わったら、直ちに筆記具を置き、監督者の指示に従ってください。
- タ その他、監督者の指示に従ってください。
- チ 受験者に対する指示は、当該試験場において掲示により行いますので、試験当日は試験場に設置された掲示板を必ず確認してください。  
なお、試験実施に係る掲示(試験室割振り、試験室、試験場本部の位置等)は、11月27日(水)の15:00から行います。
- ツ 受験者の付添者は、試験場内に立ち入ることをご遠慮ください。
- テ 受験のための宿泊施設の斡旋は行いません。
- ト 本学では合否の問合せ、電報依頼等の取扱いには応じません。  
試験場付近及び最寄りの駅周辺等で合否電報等を勧誘する者があつても、本学では一切関知しません。本学関係者を装つて勧誘する例もありますが、本学とは無関係であり、本学は一切責任を負わないで十分注意してください。
- ナ 体育専門学群の試験において、実技検査のための準備運動は実技検査時間中に行います。実技検査会場以外での運動は危険ですので、決して行わないでください。

(3) 試験の欠席連絡について

やむを得ず当日の試験を欠席する場合は、推薦した出身学校を通じて「IX 共通事項 11 問合せ先(1)入試全般に関する問合せ先」に連絡してください。

## 7 合格者発表等

### (1) 第1次選考合格者発表

人間学群心理学類

:令和6年12月11日(水)10:00

本人あて速達郵便で「第1次選考合否通知書」を発送します。

また、出身学校長あて速達郵便で「第1次選考結果通知書」を発送します。

併せて、第1次選考合格者の受験番号を大学入試情報サイトに掲載します。

### (2) 最終合格者発表・通知

① 人間学群心理学類を除く学群・学類

:令和6年12月11日(水)10:00

② 人間学群心理学類

:令和7年2月12日(水)9:00

本人あて速達郵便で「合否通知書」を発送します。

なお、最終合格者には「入学手続書類」等を同封します。電話による合否の問合せには一切応じません。

また、出身学校長あて速達郵便で「選考結果通知書」を発送します。

併せて、最終合格者の受験番号を大学入試情報サイトに掲載します。

### (3) 掲載期間

① 人間学群心理学類を除く学群・学類(最終合格者発表):令和6年12月11日(水)10:00～18日(水)12:00まで\*

② 人間学群心理学類(第1次選考合格者発表) :令和6年12月11日(水)10:00～18日(水)12:00まで\*

③ 人間学群心理学類(最終合格者発表) :令和7年2月12日(水)9:00～19日(水)12:00まで\*

\*掲載開始時間及び掲載終了時間は多少前後することがあります。

合格者発表当日は、インターネット回線が混雑するためつながりにくい場合があります。

大学入試情報サイト(<https://ac.tsukuba.ac.jp/>)



大学入試情報サイト

### (4) 合格しなかった者の取扱い

推薦入試に合格しなかった者及び人間学群心理学類第1次選考合格者は、最終不合格となった場合に備えて「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出席できます。ただし、令和7年度大学入学共通テストの受験が必要です。

## 8 入学手続

### (1) 入学手続期間

① 人間学群心理学類を除く学群・学類 :令和6年12月12日(木)～19日(木)必着

② 人間学群心理学類 :令和7年2月12日(水)～18日(火)必着

### (2) 入学手続方法

郵送及びWeb入学手続専用サイトの両方で入学手続を行ってください。Web入学手続専用サイトへのログインには「受験番号」及びインターネット出願サイトのマイページに登録した「メールアドレス」、「生年月日」が必要です。

入学手続の詳細は、合格者に送付する「入学手続書類」で指示します。

### (3) 入学料

282,000円

※改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

### (4) 入学後に必要な学生納付金

授業料 267,900円〔第1期分(4月～9月分)〕  
267,900円〔第2期分(10月～3月分)〕 } [年額 535,800円]

※改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

※授業料は、入学後に口座振替により納付してください。

### (5) 入学料・授業料の免除及び徴収猶予について

経済的理由によって納付が困難であると認められる者その他やむを得ない事情があると認められる者に対し、入学料又は授業料の全部若しくは一部の免除又は徴収の猶予をする制度があります。

詳細は、本学Webサイト>キャンパスライフ>奨学金・修学支援を確認してください。

(<https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-scholarship/index.html>)

入学料・授業料の免除等に関する問合せ先：学生部学生生活課(経済支援) 電話 029-853-2262

(土・日・祝日を除く 9:00～12:00, 13:15～17:00)

### (6) 注意事項

ア 推薦入試の入学手続完了者が本学及び他の国公立大学の個別学力検査等を受験してもその大学の合格者とはなりません。

イ 合格通知書受領後、特別な事由により入学を辞退する場合は、出身学校長から具体的な辞退理由を記載した「推薦入試辞退願」を提出し、入学辞退の許可を得てください。Web入学手続専用サイトのみの手続きでは入学辞退は受理されません。

なお、入学辞退が許可された場合を除いては、本学及び他の国公立大学の個別学力検査等を受験しても合格者にはなりません。

推薦入試辞退願の提出締切日

① 人間学群心理学類を除く学群・学類:令和7年2月4日(火)まで

② 人間学群心理学類 :令和7年2月18日(火)まで

ウ 合格者は、必ず入学又は入学辞退のいずれかの手続きをとってください。

## 9 入学試験に関する情報開示

令和7年度推薦入試に関する情報を、次のとおり開示します。

### (1) 採点・評価のポイント等

以下①～③について、本学生募集要項に掲載します。

- ① 論述問題(小論文を含む。), 面接・口述試験, 適性試験及び実技検査の一般的な採点・評価のポイント
- ② 面接・口述試験の形式(個別かグループか。)
- ③ 教科・科目、実技検査及び面接等で特に重視するものがある場合はその旨

### (2) 個人成績等

以下①, ②の個人成績については、インターネット出願登録の際に「入学試験成績開示希望の有無」欄の「有」を選択した開示希望者に対してのみ、簡易書留にて令和7年4月中旬頃に郵送します。(通知に伴う送料が必要です。)

- ① 成績を点数で表している場合は、合格者については総合点、不合格者については総合点及び成績のランク区分  
(不合格者の成績を3段階に区分し、該当する段階)
- ② 成績をA, B, C等の総合評価で表している場合は、合格者、不合格者いずれも当該段階別評価(総合評価)

以下③については、請求に応じ、受験者本人に対し、教育推進部入試課にて閲覧による開示をします。

開示期間は、令和7年5月1日～6月30日(土・日・祝日を除く9:00～12:00, 13:15～16:00)までとします。

なお、開示請求にあたっては、必ず事前に電話で申し込みの上、当日は、本学の受験票等、本人であることを確認できるものを持参してください。

- ③ 調査書の客観的な記録部分を開示します。(ただし、「指導上参考となる諸事項」、「備考」等、教員が自由に記述した部分を除きます。)

### (3) 試験問題の正解例等

小論文等の試験問題、標準的な解答例又は出題意図を試験終了後(令和7年4月以降)に、大学入試情報サイト等で発表するとともに、請求に応じて、報道機関、出版社等に提供します。[\(https://ac.tsukuba.ac.jp/examination/exam\\_questions/\)](https://ac.tsukuba.ac.jp/examination/exam_questions/)

### (4) 情報開示に関する問合せ先

「IX 共通事項 11 問合せ先」に記載の本学Webサイトから問い合わせさせてください。

## 10 個人情報の取扱い

本学は、「個人情報の保護に関する法律」及び本学が定める国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則等に基づき、個人情報の適正な管理に努めています。

出願及び入学手続時に取得する入学志願者・受験者の氏名、生年月日、性別その他の個人情報等は厳格に取り扱った上で、次のことを利用します。

- ・入学者選抜及び合格発表並びに入学手続
- ・合格者の入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金申請等)、授業料等に関する業務
- ・入学者選抜方法等の改善や広報のための調査及び分析並びに研究
- ・個人が特定できない形での統計データへの加工及び利用

また、「個人情報の保護に関する法律」第27条第1項各号に規定された場合を除いて、本人の同意を得ることなく個人情報の第三者への提供は行いません。ただし、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、合否情報、入学手続状況、本学の受験番号、志望学群名、高等学校名、氏名、性別及び生年月日の情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

本学における個人情報の取扱いについては以下のとおりです。

[\(https://www.tsukuba.ac.jp/about/disclosure-ho-kisoku/s-01/pdf/2022hks17.pdf\)](https://www.tsukuba.ac.jp/about/disclosure-ho-kisoku/s-01/pdf/2022hks17.pdf)

## 11 問合せ先

推薦要件に関する問合せは出身高等学校に相談の上、高等学校から問い合わせさせてください。その他の問合せは、志願者本人から行ってください。

### (1) 入試全般に関する問合せ先

① Webサイトからの問合せ

筑波大学 > お問い合わせ > 入試、入学 > 入学試験に関すること > 学群 > 教育推進部入試課 > MAIL  
[\(https://www.tsukuba.ac.jp/contact/form/?type=nyusika1\)](https://www.tsukuba.ac.jp/contact/form/?type=nyusika1)

② 電話、FAXでの問合せ

受付時間 土・日・祝日を除く 9:00～12:00, 13:15～17:00  
電話 029-853-6007  
FAX 029-853-6008

③ 郵送での送付先

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1  
筑波大学教育推進部入試課

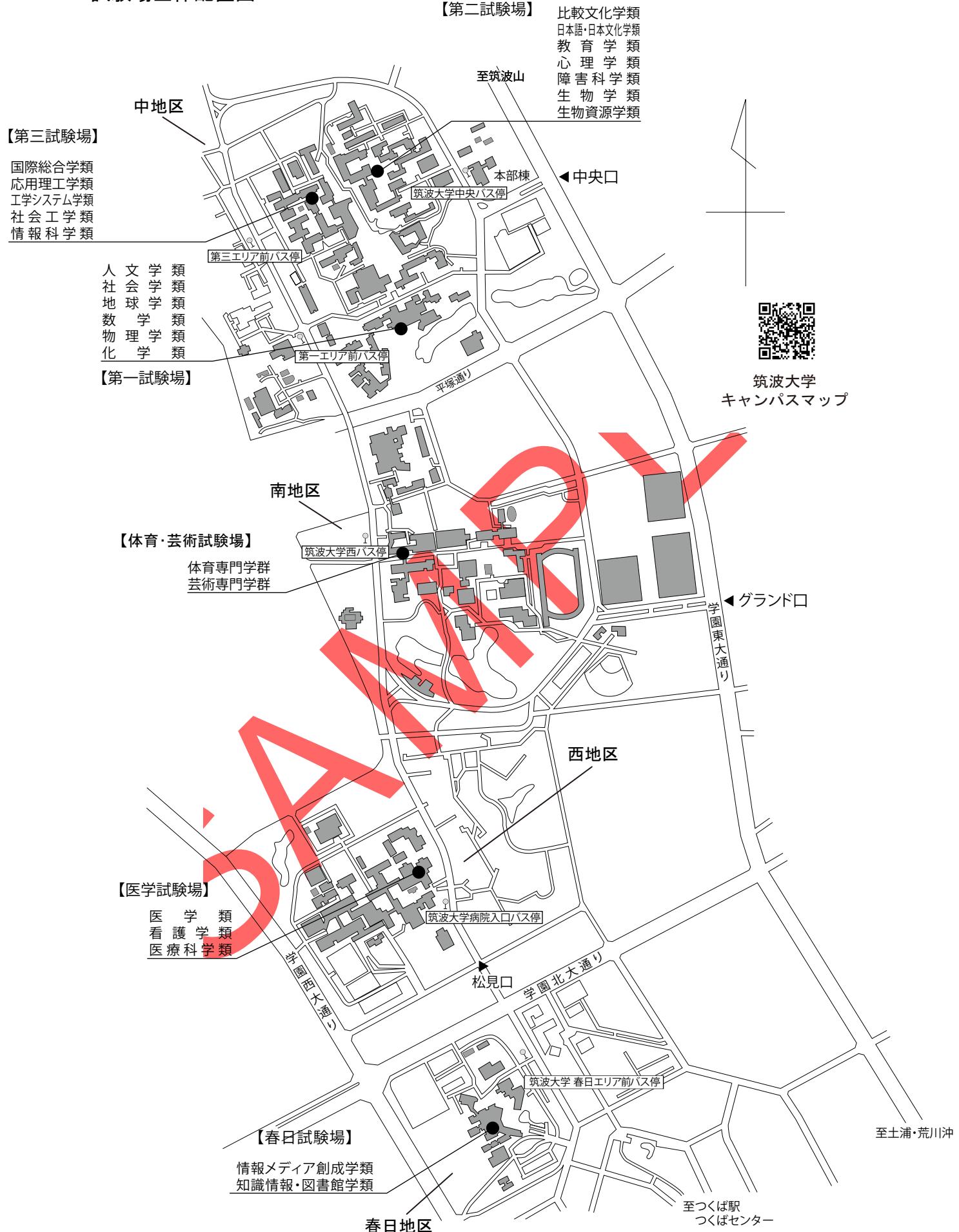
### (2) 実技検査に関する問合せ先(体育専門学群、芸術専門学群)

体育芸術エリア支援室学群教務

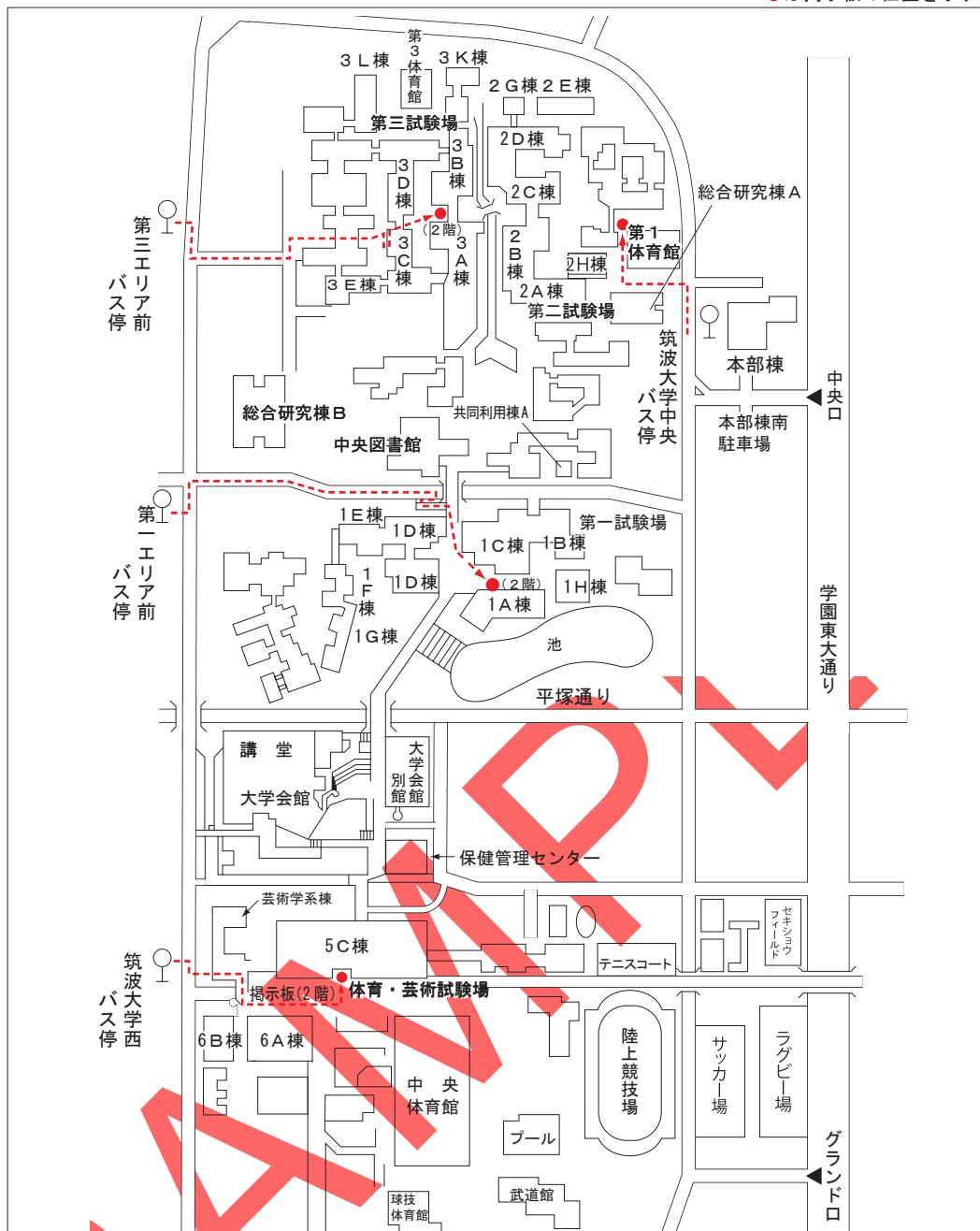
受付時間 土・日・祝日を除く 9:00～12:00, 14:00～17:00  
電話 029-853-2804

## 12 試験場配置図及び交通機関

試験場全体配置図



第一試験場、第二試験場、第三試験場、体育・芸術試験場周辺略図 ●は掲示板の位置を示す。



医学試験場周辺略図

●は掲示板の位置を示す。



春日試験場周辺略図

●は掲示板の位置を示す。



【学群・学類ごとの試験場最寄りのバス停】

		試験場	最寄りのバス停
人文・文化学群	人文学類	第一試験場	第一エリア前
	比較文化学類	第二試験場	筑波大学中央
	日本語・日本文化学類		
社会・国際学群	社会学類	第一試験場	第一エリア前
	国際総合学類	第三試験場	第三エリア前
人間学群	教育学類	第二試験場	筑波大学中央
	心理学類		
	障害科学類		
生命環境学群	生物学類	第二試験場	筑波大学中央
	生物資源学類		
	地球学類	第一試験場	第一エリア前
理工学群	数学類	第一試験場	第一エリア前
	物理学類		
	化学類		
	応用理工学類	第三試験場	第三エリア前
	工学システム学類		
	社会工学類		
情報学群	情報科学類	第三試験場	第三エリア前
	情報メディア創成学類	春日試験場	筑波大学春日エリア前 (TXつくば駅A2出口から徒歩約7分)
	知識情報・図書館学類		
医学群	医学類	医学試験場	筑波大学病院入口
	看護学類		
	医療科学類		
体育専門学群		体育・芸術試験場 及び体育施設	筑波大学西
芸術専門学群		体育・芸術試験場	筑波大学西

【主な交通機関】

- (1) つくばエクスプレス(TX)つくば駅のつくばセンターから試験場  
つくばセンターから「筑波大学循環(右回り/左回り)」乗車2~15分→  
各試験場最寄りのバス停下車徒歩約2~5分  
※春日試験場へはTXつくば駅A2出口より徒歩約7分

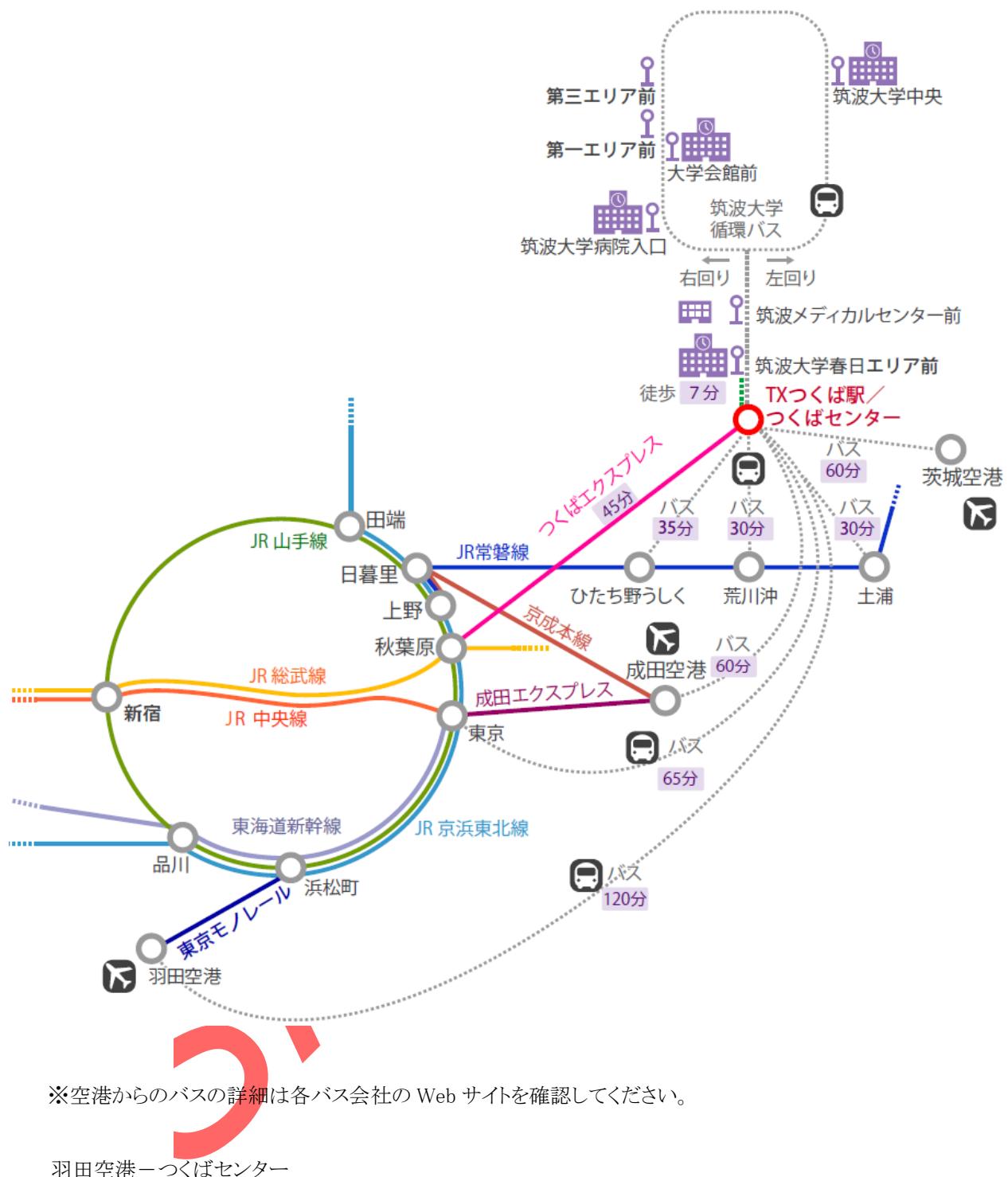
- (2) 土浦駅からつくばセンター  
西口3番乗り場から「つくばセンター」行バス乗車30分

路線バス増便運行日(予定) : 11月28日(木), 29日(金)

本学への交通アクセス・路線図の詳細は、以下のWebサイトを確認してください。

筑波大学>アクセス・キャンパスマップ>筑波キャンパス交通アクセス  
(<https://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba-access/index.html>)

【筑波キャンパスへの路線図】



成田空港 -> つくばセンター

成田空港交通 (<http://nariku.co.jp/kousoku/tsukuba.html>)

茨城空港 -> つくばセンター

関東鉄道 (<https://www.kantetsu.co.jp/highwaybus/ibr-tsukuba>)

### 13 【予告】令和8年度以降の推薦入試について

令和8年度以降の入学者選抜の変更点は以下のお知らせを確認してください。

大学入試情報サイト>入試を知る>【予告】今後の入試の変更点

(<https://ac.tsukuba.ac.jp/examination/announcement/>)

・令和7年度(2025年度)以降の筑波大学入学者選抜の変更について(2024.3.25)

今後、追加のお知らせがある場合は、上記の大学入試情報サイトで発表しますので隨時確認してください。

CAMPV

# CAMP

## 筑波大学教育推進部入試課

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1

電話 029-853-6007

FAX 029-853-6008

土・日・祝日を除く 9:00～12:00, 13:15～17:00

※推薦要件に関する問合せは出身高等学校に相談の上、高等学校から問い合わせ  
させてください。その他の問合せは、志願者本人から行ってください。